

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

令和 3 年度事業分

令和 4 年 8 月作成

伯耆町教育委員会

目次

○はじめに	1
○教育委員会の活動状況	2
○点検と評価の方法	7
○伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート	11

■はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが法第26条第1項に規定されており、これに基づき、前年度における伯耆町教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価し、その結果をとりまとめたものです。

○点検及び評価の目的

伯耆町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価することによって、課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るものです。

○点検及び評価の対象

伯耆町教育委員会が令和 3 年度に取り組んだ主な事務・事業を対象とします。

○伯耆町教育委員会委員名簿(令和4年4月1日現在)

教育長	箕 浦 昭 彦
教育長職務代理者	大 木 寿 之
委 員	羽 田 成 夫
委 員	松 岡 和 代
委 員	濱 田 真 代

○教育委員会の組織図



■教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況

開催日	会議別	案件区分	案件名
4月28日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	新型コロナウイルス感染症に係る伯耆町立学校の対応について
		議事	図書館協議会委員の任命について
		議事	社会教育委員の委嘱について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	令和3年度伯耆町社会教育計画について
		その他	オリンピック聖火リレーについて
		その他	令和3年度成人式について
		その他	事務連絡
5月26日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	文化財保護審議会委員の任命について
		議事	学校校務分掌主任等の任命について
		協議	令和3年度教育委員会関係補正予算の原案について
		協議	工事請負契約の締結に関する議案の原案について(鬼の館長寿命化等改修工事)
		協議	工事請負契約の締結に関する議案の原案について(伯耆町立溝口公民館改修工事)
		協議	西部地区町村教育委員会連絡協議会総会の書面開催について
		その他	令和3年度伯耆町成人式の実施について
		その他	町内新型コロナウイルス感染症に係る対応について
		その他	事務連絡
		6月22日	定例会
報告	当面の教育委員会関係行事予定		
報告	令和3年度西部地区町村教育委員会連絡協議会総会の書面決議の結果報告について		
報告	鳥取県市町村教育委員会研究協議会理事会・定期総会・研究大会について		
報告	6月定例町議会提出案件等の結果について		
議事	伯耆町成人式の今後のあり方について		
その他	令和3年度伯耆町教委学校計画訪問実施計画		
その他	日野町教育委員会人事について		
その他	伯耆町新型コロナウイルス感染症対策について		
その他	令和3年度成人式について		
その他	事務連絡		

8月4日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	令和3年度前期標準学力調査の結果について
		議事	令和4年度使用中学校教科書について
		その他	教育委員会関係事業(文科省)について
		その他	前期学校訪問のまとめ
		その他	令和3年度伯耆町町民運動会中止について
		その他	伯耆町「夏休みのお楽しみ」中止について
		その他	新型コロナウイルス感染症の対応について
		その他	令和3年度鳥取県中学校総合体育大会について
		その他	事務連絡
8月23日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	児童生徒の携行品に係る配慮について
		協議	人権擁護委員候補者の推薦について
		協議	工事請負契約の締結に関する議案の原案について(鬼の館長寿命化等改修工事(建築))
		協議	令和3年度教育委員会関係補正予算(第4号)の原案について
		協議	令和2年度教育委員会関係予算の決算の原案について
		協議	学校給食会計の公会計化について
		協議	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
		協議	令和3年度鳥取県市町村教育委員会研究協議会理事会及び定期総会(書面)の開催について
		協議	法人の経営状況について
		その他	大雨対応について
		その他	成人式について
		その他	総合教育会議について
		その他	新型コロナウイルス感染症の対応について
		その他	事務連絡
9月29日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	9月定例町議会提出案件等の結果について
		報告	令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について
		報告	令和3年5月実施伯耆町人権意識調査の結果について
		報告	人権施策推進計画に基づく事業実施状況調査の結果について
		議事	要保護・準保護認定について
		議事	伯耆町地域学校協働本部設置要綱の一部を改正する告示について
		その他	伯耆町総合教育会議の議題について

		その他	鳥取県市町村教育委員会研究協議会 令和3年度理事会及び定期総会の書面決議報告について
		その他	新型コロナウイルス感染症に係る今後の対応について
		その他	令和3年度成人式について
		その他	事務連絡
10月26日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		その他	総合教育会議資料について
		その他	令和3年度市町村教育委員会委員研修会について
		その他	令和4年度新規事業について
		その他	事務連絡
11月24日	定例会	報告	日光公民館事業進捗状況
		報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	令和3年度市町村教育委員会委員研修会について
		報告	鳥取県交通安全功労表彰の被表彰者について
		報告	成年年齢引き下げに伴う伯耆町成人式の今後の在り方の答申について
		協議	令和3年度教育委員会関係補正予算(第6号)の原案について
		協議	第3次伯耆町人権施策推進計画(素案)について
		その他	学校給食公会計化について
		その他	教育委員の再任について
		その他	事務連絡
		12月21日	定例会
報告	当面の教育委員会関係行事予定		
報告	12月定例町議会提出案件等の結果について		
その他	1月臨時議会提出案件について		
その他	後期学校訪問のまとめについて		
その他	令和4年度当初予算編成に係る要望について(校長会)		
その他	令和4年度伯耆町教育に関する要望書について(PTA協議会)		
その他	令和3年度伯耆町教育委員会表彰(1次集約)について		
その他	教育委員の充て職について		
その他	西部地区町村教育委員会連絡協議会会員研修会		
その他	事務連絡		
1月24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	令和4年1月臨時議会提出案件等の結果について
		議事	区域外就学について
		その他	新型コロナウイルス感染症対応について
		その他	令和3年度合同研修会(学校教育)の開催中止について

		その他	事務連絡
2月21日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	令和3年度後期標準学力調査の結果について
		報告	令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
		協議	令和3年度教育委員会関係補正予算(第8号)の原案について
		協議	令和4年度教育委員会関係当初予算の原案について
		協議	人権擁護委員候補者の推薦について
		協議	第3次伯耆町人権施策推進計画について
		協議	令和3年度伯耆町教育委員会表彰について
		その他	新型コロナウイルス感染症対応状況について
		その他	町内小学校での事故発生について
		その他	事務連絡
3月12日	臨時会	議事	令和4年度 伯耆町小中学校の教職員の人事異動内申について
3月24日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	3月定例議会提出案件等の結果について
		議事	令和4年4月1日付け教育委員会事務局関係職員の人事異動について
		議事	伯耆町教育委員会に提出する書類の押印の省略等に関する規則の制定について
		議事	伯耆町教育委員会が施行する文書の公印の押印の省略等に関する規則の制定について
		議事	溝口小学校医の委嘱について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	入学式告示案について
		その他	事務連絡

開催回数		13
案件別提出件数	報告件数	43
	議案件数	16
	協議件数	20
	その他件数	51
	合計	130

2. 教育委員会関係会議・事業等

(1) 教育委員研修会・会議

- 中国地区教育委員会連合会研修会(オンライン開催)
- 鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会総会・研修会(オンライン開催)
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会総会(書面開催)
- 鳥取県市町村教育委員会委員研修会(オンライン開催)

(2) 学校関係事業・行事

- 学校計画訪問 全小中学校
- 入学式・卒業式 全小中学校
- 運動会・体育祭 全小中学校
- 学習発表会・文化祭 全小中学校
- 教職員離任式

(3) その他

- 成人式
- 総合教育会議(1回)

令和 3 年度 主要事業の点検評価

当該年度に取り組んだ、主要な事業について、事務の執行状況とそれに対する点検・評価の結果を報告する。

□点検と評価の方法

令和 3 年度の教育委員会所管の業務のうち、次の点検・評価対象事業の成果と課題等について、教育委員会事務局による点検・評価を行い、この結果に対して、社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、小中学校PTA会長、スポーツ推進審議会委員、地域学校協働本部実行委員及び教育委員に意見等を求めた。

□点検・評価対象事業

伯耆町教育振興基本計画の事業展開方針に基づき、取り組んだ事業を対象とする。

基本目標1 「社会の一員として自立して生きていく児童生徒の育成」

施策(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

①確かな学力と規範意識の向上、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- ・小中一貫学力・人間力定着事業
- ・中学校各1名、小学校1名のALTの配置
- ・栄養教諭等による食育の充実
- ・運動部活動推進員の配置
- ・人権教育の推進
- ・体験学習の充実など

②教職員の指導力向上のための研修の充実

- ・校内研修への外部指導者招聘
- ・町教振研究大会での悉皆研修
- ・町教委主催各種研修会の実施など

施策(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続

①保育所・小学校・中学校一貫教育の推進

- ・保小中一貫カリキュラムの学習指導要領に合わせた改訂（伯耆I学習を含む）
- ・保育所、小学校、中学校の児童・生徒交流活動
- ・小中学校教職員の交流
- ・ふるさとキャリア教育
- ・合同授業研究会など

②保育所・小学校・中学校の滑らかな接続

- ・伯耆町就学支援検討会
- ・早期支援コーディネーター配置
- ・中学校区を単位とする小中学校連携事業の推進
- ・保育所職員、教職員の情報交換会、合同研修など

施策(3) 人にやさしい学校教育環境の整備

①人にやさしい学校教育環境の整備

- ・少人数学級の実施
- ・学習支援員と学校司書の配置
- ・部活動指導員等の配置
- ・就学援助
- ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、早期支援コーディネーターの配置など

②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備

- ・学校施設・設備の充実
- ・スクールガードリーダーの配置
- ・ICT環境の整備
- ・ICTに関する教職員の研修や支援の充実
- ・ICT機器の活用促進
- ・体育館照明LED化の検討
- ・給食会計の公会計化検討など

基本目標2 まちぐるみで取り組む教育の推進

施策(1) 学校・家庭・地域・行政の連携

①家庭教育の充実

- ・家庭教育ハンドブックの活用促進
- ・放課後子供教室
- ・家庭教育支援チーム
- ・学校や関係課と連携した子育て教室等の開催など

②まち全体で子どもを育む地域と共に創る学校の推進

- ・学校運営協議会・地域学校協働本部と学校との協働
- ・伯耆町教育ネットワーク会議の取組拡充
- ・学校支援ボランティア制度の充実など

施策(2) みんなで取り組む青少年の健全育成

①「共育」「見守り」環境の整備

- ・青少年育成伯耆町民会議等関係団体の活動支援
- ・青少年によるボランティア活動の推進
- ・あいさつ運動の推進など

②ふるさとを支える青少年の育成

- ・ふるさとキャリア教育
- ・伯耆I学習の推進
- ・地域の特性に根差した体験活動の充実
- ・通学合宿
- ・教育交流事業など

基本目標3 学び続け輝き続けるための環境づくり

施策(1) 心豊かな生活を創る学びの推進に関する取組方針

①生涯学習の推進

- ・公民館を核とした住民活動支援と関係課との連携
- ・生涯学習情報の積極的な発信
- ・住民参画・協働による生涯学習事業の検討
- ・溝口公民館改修
- ・地域指導者の発掘
- ・成人団体の育成など

②読書活動の推進

- ・図書館の利用促進と読書活動の推進
- ・ブックスタート、ブックセカンド、ブックサード事業の実施
- ・あたまいきいき音読教室の開催、出前図書館など

施策(2) 人権尊重のまちづくりの推進

①人権尊重のまちづくりの推進

- ・明るいまちづくり懇談会の充実等教育・啓発活動の推進
- ・人権教育・啓発推進協議会の活動支援

- ・相談業務の拡充
- ・個別計画に基づく事業の推進
- ・文化センター活動の充実など

施策(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造

①文化財の保存と活用

- ・文化財調査及び文化財保護
- ・文化財教室等の開催
- ・郷土学習の支援
- ・文化財の保存・展示施設の整備など

②地域芸術文化の振興

- ・伝統行事や地域文化活動の開催等支援
- ・文化施設の適正管理及び利用促進
- ・芸術文化活動の発表の場づくり
- ・文化芸術団体等の活動支援と活動の周知
- ・鬼の館長寿命化など

基本目標4 スポーツや運動を通じての心と体の健康づくり

施策(1) 生活の中にスポーツがある暮らしの支援

①幼児・小中学生のスポーツ活動の推進

- ・ジュニアクラブの活動支援
- ・スポーツクラブとの連携による健康づくりなど
- ・保育園児への運動指導など

②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・ニーズに沿ったスポーツ教室等の開催
- ・運動、スポーツに関する啓発・情報提供など

施策(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備

①いつでも気軽にスポーツができる環境の整備

- ・スポーツ関係団体と連携した事業の推進
- ・スポーツ団体の活動支援
- ・体育施設の適正管理
- ・海洋センター（体育館・プール）、武道館の照明LED化検討
- ・グラウンド等夜間照明の在り方の検討など

施策(3) スポーツでつながり広がる交流・連携の推進

①スポーツ交流の充実・支援

- ・教育委員会表彰によるスポーツボランティアの顕彰交流の充実・支援
- ・町民対象の競技スポーツ大会の充実など

②競技スポーツの支援

- ・教育委員会表彰による功績等の周知
- ・スポーツ優秀選手への補助金交付
- ・全国大会等出場選手の周知など

□評価方法

1. 評価記号の説明

評価記号	説明
◎	・新規に企画された事業で目標が達成された事業
○	・継続事業で目標が達成された事業 ・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業
△	・継続事業で目標がほぼ達成された事業 ・新規に計画された事業で目標達成が不十分な事業
▲	・継続事業で目標達成が不十分な事業 ・新規に計画された事業で目標がほとんど達成されなかった事業
●	・実施しなかった事業又は目標がほとんど達成されなかった事業

※新規事業は、継続事業よりも企画・調整・準備等に多くの時間・労力を要するため評価を高くしています。

2. 評価基準

「(1)評価記号」の説明	達成値
「目標が達成された」	90%以上
「目標がほぼ達成された」	70%以上 90%未満
「目標達成が不十分」	50%以上 70%未満
「目標がほとんど達成されなかった」	30%以上 50%未満
「実施しなかった」	30%未満

3. 目標達成の判断基準

- ◇ 事業が目標の趣旨に沿って行われたかどうか
- ◇ 予算執行が適切な時期までに行われたかどうか
- ◇ 会議、イベント等が適切な時期に行われたかどうか
- ◇ 年度当初に作成された実施計画等に予定された事業が実施されたかどうか
- ◇ イベント等の講師・指導者の選定が適切になされたかどうか
- ◇ イベント等の広報宣伝が適正になされたかどうか
- ◇ 会議、大会等の案内状の発送が適正になされたかどうか
- ◇ 参加率の向上のための手立てが適正になされたかどうか
- ◇ その他不適切な部分がなかったかどうか

4. 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった事業等の扱いについて

- ◇点検評価の基本的な考え方

事業や活動数で評価をしているのではなく、ねらいが達成できているかで評価を行う。

- ①事業そのものがまったくできなかった場合（例：運動会、町スポーツ大会など）

「空欄とする」

事業をやってはいけない状況であり、できなかった事業を評価することはできないため

- ②いくつかの事業は実施できた場合（公民館体験活動など）

実施状況に応じ、ねらいが達成できたかどうかで評価する「○」「△」など

- ③予定していた事業に対し代替となる取組を行った場合（ひまわりセミナー、成人式など）

ねらいが達成できているかどうかで評価「○」「△」など

令和 3 年度事業 伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート

計画分類		主な事務事業				評価	
施策方針	事業方針	前年度の番号	事業名	担当	事業概要		
1-(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	① 確かな学力と規範意識の向上、豊かな心と健康やかな体を育む教育の充実	1	学力向上推進計画策定と進捗管理	総務学事	<p>事業概要</p> <p>全国学力・学習状況調査及び標準学力調査(年2回)の結果をもとに、各学校毎に児童生徒の学力向上に向けた取り組みを計画的に実施すると共に、継続的な計画の取り組みによって、的確な指導体制を確立する。</p>	<p>主な成果等</p> <p>主な課題・改善方針・今後の展開等</p> <p>・全国学力・学習状況調査及び、標準学力調査の分析結果をもとに、各学校毎に学力向上に向けた取組を計画を実施することができた。 また、各学校が次年度の学力向上計画を作成し、これらをもとに町としても学力向上推進計画を作成し、実施することができた。 ・学力調査の分析の上に、PDCAサイクルが回るように意図しながら、計画訪問、授業研究会等で、随時、指導助言にあたるようにする。</p>	<p>○</p> <p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p>
		2	標準学力調査及び分析の実施	総務学事	<p>標準学力調査を年2回実施し、学力の定着状況を把握・分析することで、児童生徒の課題の改善及び教育施策の成果と課題を検証する。また、教育指導の改善、学力向上推進計画のPDCAを継続的に行う体制を確立する。</p>	<p>・教務主任会を通じて各校教務主任と連携し、各学校が標準学力調査の結果を詳細に分析した上で、各校の取組を共有し、本町としての児童生徒の課題・改善に向けた取組につなげることができた。 ・学力調査の分析の上に、PDCAサイクルが回るように意図しながら、計画訪問、授業研究会等で、随時、指導助言にあたるようにする。</p>	<p>○</p> <p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p>
		3	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・学力補充関係事業	総務学事	<p>各学校毎に、学習状況に課題のある児童・生徒を対象にした学力補充教室を開催すると共に、指導補助員を配置し、よりきめ細やかな指導体制を整備することで、児童生徒の学力向上を図る。</p> <p>また、英語教育推進を目的に、英語学習に目的意識を持って取り組めるよう英検受験料補助事業を実施する。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの夏季休業中の学力補充教室は実施できなかったが、伯耆未来塾を実施することで学習の場を提供し、生徒の学力向上の一助となった。 ・英検受験では、溝口中学校会場で、小学生の受験を実施した。 ・学力補充教室は、学校規模によっては、実施回数確保が難しくかったり、参加者が多いため個別の課題に応じた支援が難しかったりするため、実施方法等について工夫・見直しが必要。</p>	<p>○</p> <p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p>

計画分類	主な事務事業					評価		
	事業方針	前年度の番号	事業名	担当	事業概要			
1-(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	① 確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育(つつき)	4	体力向上計画策定と進捗管理	総務学事	全国体力・運動能力・運動習慣調査の結果をもとに、各学校毎に体力向上計画を策定し、体力向上等に対する的確な指導体制を確立することで、児童生徒の健康増進に寄与する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		5	小学校外国語教育推進事業	総務学事	令和2年度から新学習指導要領の全面実施に伴い、導入される小学校での外国語教育の円滑な移行に向けて、町内4小学校を受け持つALT1名を配置する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		6	外国青年招致事業	総務学事	岸本中学校と溝口中学校にALTを1名ずつ配置し、生徒の英語能力の向上に資する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		7	栄養教諭による給食指導	給食センター	栄養教諭1名、要望による加配職員1名の計2名で栄養指導を行い、学校給食を通じて食育の推進を図る。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
						令和2年度から新学習指導要領の全面実施に伴い、導入される小学校での外国語教育の円滑な移行に向けて、町内4小学校を受け持つALT1名を配置する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						岸本中学校と溝口中学校にALTを1名ずつ配置し、生徒の英語能力の向上に資する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						栄養教諭1名、要望による加配職員1名の計2名で栄養指導を行い、学校給食を通じて食育の推進を図る。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力・運動習慣調査は、町内全校での実施はできなかったが、各学校毎に体力向上計画を策定し、課題に応じた体力向上の取組をすることができた。 ・課題となる種目があり、今後も経年で系統的に実態を把握しながら取組を継続していく。 ・小学校への英語教育導入に対応するため、町内全小学校を対象したALTを1名配置して英語教育を支援するとともに、国際理解教育を支援した。 ・引き続き、生徒の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。 ・各中学校にALTを配置し英語学習と国際理解の充実を図った。また、公民館の英会話教室での講師、広報誌にALT通信を載せる等、地域における国際理解の啓発に寄与した。 ・引き続き、生徒の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。 ・栄養バランスのとれた給食を食べることにより、食事の楽しさ、食事の基礎知識の学習など、児童生徒が食事の大切さを学んだ。児童生徒に地元食材を食べてもらったことで、食育の推進を図った。 ただし、1学期は栄養教諭の育児休暇による加配職員1名体制であったため、また新型コロナウイルス感染症の影響により、栄養指導等の回数は減少した。 また、毎年実施している生産者やセンター職員と児童との交流給食も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。 県が育休・産休の代替職員等を募集しても、なかなか見付からないことが多々あるため、1人体制になった時の十分な食育、栄養指導等への対応の検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 		

計画分類		番号	前年度の番号	事業名	担当	事業概要	主な事務事業		評価
施策方針	事業方針						主な課題・改善方針・今後の展開等	主な成果等	
1-(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	① 確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育(つづき)	8	26	伯耆町教育振興会事業 ・学校保健	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及びび出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食調べを全小中学校で行ったほか、生活習慣・アレルギ一対応などについて、情報交換を行い、今後の取組の参考とした。 ・朝食調べを継続するとともに、各保育所・学校での生活習慣改善の取り組みを調査する。 ・運動部活動外部指導者活用事業(県事業)を活用し、岸本中学校でバスケットボール部、溝口中学校で剣道部の外部指導者派遣を行い、専門的指導等を実施した。 また、中学校部活動指導員配置事業(国事業)も活用し、岸本中学校でバスケットボール部、柔道部、卓球部及び陸上部に、溝口中学校では柔道部に部活動指導者を配置し生徒への指導のみならず、教員の負担軽減を図ることができた。 引き続き、県事業及び国事業を活用し、専門的指導が必要な部活動に外部指導者及び部活動指導員を配置し、部活動の活発化、生徒の技能向上並びに教職員の負担軽減を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 	
		9	27	運動部活動推進事業	総務学事	地域の専門的指導者を部活動指導員に派遣し、部活動の活発化、生徒の技能向上、地域との連携の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・岸本小4名、八郷小2名、二部小4名の推薦を受け、特別非常勤講師を配置した。各自の専門的な知識や技能を活かし、授業の充実が見られた。 引き続き、各学校の実態に応じ、専門的な知識技能を有する者を特別非常勤講師として配置し、授業の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 	
1-(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	② 教職員の指導力向上のための研修の充実	10	28	特別非常勤講師	総務学事	地域の専門的知識を有する者を県教委に内申し、特別非常勤講師として配置してもらい、総合的な学習の一部やクラブ活動を担当させることで、学校教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・町人権教育研究大会を11月19日にこしき保育所の取組、岸本小学校の取組によって開催した。伯耆町人権フォーラムの実行委員会に参加し、住民とともに教員・保護者等の人権啓発を図った。 人権学習について、町内の全小中学校で指導事項・内容等の共通理解を図り、共通実践を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 	
		11	22	伯耆町教育振興会事業 ・人権教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及びび出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各校授業研究会のほか、本事業で外部講師の指導(リポートを含む)による授業研究会等を岸本中1回、八郷小1回、溝口中1回、二部小1回を開催した。 授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れるよう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。 小中一貫授業力向上研修会として、ICT研修を実施した。 管理職研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型ではなくDV視聴形式により実施した。 取り組みをより有効なものにするため、HK30プランに基づき関係組織・地域等との連携・協働体制を拡充する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 	
1-(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	② 教職員の指導力向上のための研修の充実	12	30	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・各校研修会	総務学事	各学校の授業研究会へ外部講師を招聘し、授業の質的な向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・町人権教育研究大会を11月19日にこしき保育所の取組、岸本小学校の取組によって開催した。伯耆町人権フォーラムの実行委員会に参加し、住民とともに教員・保護者等の人権啓発を図った。 人権学習について、町内の全小中学校で指導事項・内容等の共通理解を図り、共通実践を進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 	
		13	31	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・教委研修会	総務学事	小中一貫教育・人間力定着の取り組みをより有効なものにするため、教員の授業力や管理職等のマネージメント能力を高める管理職研修会等を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各校授業研究会のほか、本事業で外部講師の指導(リポートを含む)による授業研究会等を岸本中1回、八郷小1回、溝口中1回、二部小1回を開催した。 授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れるよう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。 小中一貫授業力向上研修会として、ICT研修を実施した。 管理職研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集合型ではなくDV視聴形式により実施した。 取り組みをより有効なものにするため、HK30プランに基づき関係組織・地域等との連携・協働体制を拡充する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上 	

計画分類		番号	前年度の番号	事業名	担当	事業概要	主な事務事業		評価
							事業方針	主な成果等	
1-1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	② 教職員の指導力向上のための研修の充実(つき)	14	32	伯耆町教育振興会事業 ・研究会	総務学事	学校教育の諸課題に対応できるよう教職員の資質向上を図るため、本町独自の研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、町教振研究大会は実施できなかつた。 ・今後の二一ズや社会情勢に対応した研修等を開催し、教職員の知識・技能の向上を図る。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		15	33	伯耆町教育振興会事業 ・授業研究会	総務学事	授業研究会を開催することで、個々の教職員の資質・能力を高めるとともに、教職員の協働性を高め学校力の向上・充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 岸本小4回 八郷小6回 岸本中3回 岸本中学校区合同1回 溝口小7回 二部小5回 溝口中3回 溝口中学校区合同1回 ・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れるよう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		16	34	伯耆町教育振興会事業 ・生徒指導	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導担当者2回、研修会1回等を開催した。 ・第1回生徒指導担当者 情報交換、夏休みのくらしについて ・第2回生徒指導担当者 情報交換、冬休みのくらしについて ・研修会 「要対協児童に関わる教職員の対応のあり方について」(児童相談所大田氏、福祉課北垣氏) ・担当者において全員が集まれるよう、早期の日程調整や年間を通じた日時決定など対応を検討する必要がある。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		17	36	学校要請訪問、学校随時訪問	総務学事	各学校の校内授業研究会での指導助言や授業参観・授業評価及び学校長への指導助言を目的として随時訪問を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内授業研究会、小中合同研究会に可能な限り参加し、研究推進の進捗を見取るとともに、教職員への指導助言を行うことができた。また、管理職との協議の中で、各学校の研究推進への助言を行うことができた。 ・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れるよう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
18	37	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	総務学事	各学校の運営状況及び授業実践の把握を行うため、各種訪問を行い、各校の課題改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・町教委学校計画訪問 各小中学校1回 ・行事訪問(各式典参列) ・西部教育局学校訪問 各学校2回 ・上記の訪問による各学校教育の見取りをまとめて、還元することができた。 ・教育委員による学校教育の見取りの結果を、今後とも学校に還元し、促進と改善を促していく必要がある。 	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上		

計画分類	主な事務事業					評価	
	施策方針	事業方針	事業名	担当	事業概要		
1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続	① 保育所・小学校・中学校一貫教育委の推進	19	伯耆町教育振興委員会 ・保小中一貫教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等 ・コロナ禍ではあったが、可能な範囲で専門部会、小中情報交換会を開催し、各校の状況の共有、共通実践項目のチェックや今後の取り組みの確認を行った。また、授業研究会への相互参加による授業改善や保・小・小中の交流を進め連携を図った。 ・共通実践項目や目指す人間像といった理念について、年度当初に確認したうえで、具体的な取組を進めていく。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		20	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・小中一貫関係事業	総務学事	小中一貫教育カリキュラムを活かした授業づくりのスキルを高めるよう、各中学校区で全教職員を対象にした授業研究会等を開催し、授業改善の共通認識の醸成を図る。	・小中合同授業研究会を開催し、教職員の授業力向上及び『保小中一貫カリキュラム』に基づいた授業づくりのスキルを高めた。 ・新学習指導要領改訂に基づき、各学校で小中一貫カリキュラムの見直しを進める。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		21	スクラム教育事業 (保・小・中の児童・生徒交流活動)	総務学事	中学校区での保・小・小中が校種の枠を超えてスクラムを組み、一貫性のある教育や各種取り組みを行うことで、学力向上・不登校防止・職員間の情報共有等に寄与する。	小・中交流会、保・小交流会、授業体験交流、合同研究会等の実施による連携強化、中一ギャップの解消、教員間の情報共有を図った。また、スクラム教育に関するまとめ冊子を発行した。 ・岸本中学校区 小中交流会2回 保小交流会5回 ・溝口中学校区 小中交流会2回 保小交流会5回 ・今後も学力・体力向上や不登校防止など、成果を見極めて内容を精選し、課題に応じた取組を進めていく。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		22	中学校教員の小中学校への乗入授業	総務学事	小中の職員が互いに乗り入れて学習指導することで、中1ギャップへの対応、専門性を生かした授業内容の充実や学習意欲の向上を図る。	・岸本中学校、溝口中学校からともに小学校へ音楽科の乗り入れ授業を行い、より専門的な指導力を生かした授業実践につながった。 ・教職員の配置により、乗り入れ授業の実施の可否が決まるので、必ずしもそれぞれの学校の課題に応じた配置や計画になりにくい面がある。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		23	② 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続	就学支援検討会	小中学校就学について、支援が必要と考えられる子どもに対して、関係機関が連携し、環境を整備することによって就学後の学校不応答などの2次障害を防止する。	・早い段階での関係機関による連絡会議開催で、対象児童の状況把握を行ったうえで、複数回の観察会、5歳児検診・相談を経て就学支援検討を行った。 ※保→小112件、小→中17件の事案について対応・支援 ・観察記録シートの改善をし、視点を細分化した必要な支援についての協議の充実が図れた。 ・コロナ禍で9月の全体会は開催できなかったが、各小中、保幼の機関との連絡会を個別に行うことで、就学支援の方向性が確認できた。 ・支援の必要な子どもの多面的状況把握のための関係機関の連携に努め、本人・保護者の思いに寄り添った適切な就学支援につなげる。 ・西部就学支援検討会に向けて、関係機関との事前協議をさらに綿密に行いたい。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		番号	主な事務事業				評価
施策方針	事業方針		事業名	担当	事業概要	主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続(つづき)	② 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続(つづき)	24	保育所、小中学校、教育委員会事務局等及び関係機関で組織を構成し、就学支援教育充実のための連携推進や小中の小中の特別支援学級の交流活動の推進を図る。	総務 学事	<ul style="list-style-type: none"> ・保小中からみたら発達障がいの子どもの理解と支援に関する研修会を開催し、発達障がいの子どもの抱える課題や分析実験シートによる子どもの見とりになどについて知見を深めた。 ・次年度も長期休業を利用して、研修を行いたい。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
1-(3) 人になやさしい 学校教育環境 の整備	① 人になやさしい 学校教育環境 の整備	25	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。	総務 学事	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区毎に、児童生徒を語る会(小中学校担当教員、SC、SSW、教育委員会指導主事等参加)を開催し、関係者による育ちを見据えた情報共有といじめ問題等の未然防止のための協議及び連携した支援体制の構築に努めた。 岸本中学校区:各学期1回、溝口中校区:各学期1回 ・不登校及びいじめ問題等の未然防止、早期発見、早期連携の一層の重要性を再確認し、校区、SC、SSWとの連携を強化していく。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
1-(3) 人になやさしい 学校教育環境 の整備	① 人になやさしい 学校教育環境 の整備	26	小中全学年30人学級の実施によりきめ細やかな教育を推進する。	総務 学事	<ul style="list-style-type: none"> ・二部小 5・6年複式⇒5学年単式・学級 定員1名増 ・八郷小 4・5年複式⇒4学年単式・学級 定員1名増 ・岸本中 1・2・3年⇒少人数学級実施 定員5名増 ・上記により、きめ細やかな学習指導、一人ひとりの変化への気づきによる速やかな生徒指導の面で教育効果をあげている。このほか、学校からは、不登校等の諸問題についても、有用性が認められると報告されている。 ・今後は、小学校において増加が想定される複式学級への対応を検討する必要がある。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
		27	スクールソーシャルワーカー活用事業	総務 学事	<ul style="list-style-type: none"> ・SSW1名、SSWS2名を配置し、学校・関係機関と連携・情報共有のうえ、問題を抱える児童生徒の個別の状況や問題点の把握・確認、支援方針の確立等、支援を行い課題の解消につなげた。 ・ケース会議教 教職員: 14回 関係機関含: 38回 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
		28	スクールカウンセラーとの連携	総務 学事	<ul style="list-style-type: none"> ・SSWとSCの勤務日を合わせる工夫を図り、教職員とも一緒に児童・生徒の状況把握やや問題点の確認をおこない、役割分担あるチーム支援が行えた。 ・困難事例や、突発的な事故等の発生時の援助体制の一層の整備を図る。 ・継続事業だけでなく、未然防止の観点からのチーム連携の強化を図る。 	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	

計画分類	主な事務事業					評価	
	施策方針	事業方針	事業名	担当	事業概要		
1-(3) 人々にやさしい 学校教育環境 の整備	① 人々にやさしい 学校教育環境 の整備	29	特別支援教育支援員配置事業 ・早期支援コーディネーター	総務 学事	特別な支援が必要となる可能性のある子ども及びその保護者に対し、学校・家庭・関係機関との連絡・調整を行う早期支援コーディネーターを配置することで、早期からの情報提供・相談会実施など柔軟できめ細やかな対応ができる一貫した体制を整備する。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		30	特別支援教育支援員配置事業 ・学習支援員等	総務 学事	特別支援学級に在籍する児童生徒の内、日常的に介護等が必要な児童生徒と通常学級に在籍するLD、ADHD、アスペルガー症候群等の児童生徒に対し、学習支援、安全確保等を行うことで担任と児童生徒が安心して授業に取り組める環境を整備し、教育効果を高める。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		31	学校図書整備及び図書館司書配置	総務 学事	各小中学校に司書教諭補助職員を配置し、学校図書館を利用した学習の充実や児童生徒の読書活動推進に寄与する。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		32	校務支援システムの活用	総務 学事	校務支援支援システムを導入し、個々の教職員の持つ様々な児童生徒の情報や指導要録などを発信・受信・共有・一元管理することで、教職員の多忙感解消や教育の資質向上を図る。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		33	教育支援センター運営事業	総務 学事	溝口体育館内に設置した教育支援センターにおいて、不登校等の児童生徒への学習支援や生活指導を行う。また、いじめや友人関係などの悩みを抱える児童生徒・保護者の相談活動を行い、不登校・問題行動等の未然防止を図る。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業						評価	
		番号	前年度の番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 人々にやさしい 学校教育環境の整備(つづき)	事業方針								
	① 人々にやさしい 学校教育環境の整備(つづき)	34	46	就学援助事業 ・要保護、要保護	総務 学事	生活保護・生活保護に準ずる者、非課税・母子家庭等を対象とし、金銭的に生活が苦しい保護者に対し教育費(学用品、給食費)を援助することで、保護者の教育を受けさせる義務の遂行を図る。	・令和3年度認定:87名(59世帯) ※昨年に引き続き、母子、父子家庭が半数以上を占める(40/59)。 ※入学前支給(19名) ・引き続き、金銭的に生活が苦しい保護者に対し、教育費(学用品、給食費)を適正に援助する。 ・令和3年度認定:17名(17世帯) ※世帯の収入・世帯員によりⅠ～Ⅲ区分に分ける。なお、区分により支給対象経費が異なる。 ※支給額は、要保護・要保護の2分の1程度。 ・引き続き、特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援し、金銭的負担の軽減を図る。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
1-(3) 人々にやさしい 学校教育環境の整備(つづき)	② 安全安心で 質の高い教育を支える 教育環境の整備	35	47	就学援助事業 ・特別支援教育 就学奨励金	総務 学事	特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援することで金銭的負担を軽減し、義務教育の遂行を支援する。	・老朽化した施設の改修工事を行い快適な学習環境を整備した。 【主な施設修繕】 小学校遊具更新 ・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
	③ 安全安心で 質の高い教育を支える 教育環境の整備	36	48	学校施設整備事業	総務 学事	老朽化施設や大規模な修繕が必要とされる施設について、長寿命化や安全性の向上等を図り、児童生徒の教育環境を整備する。	・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 岸本小:トイレ便座交換工事、ガラス修繕ほか 八郷小:給食用昇降機修繕工事ほか 二郷小:プール床面補修、ガラス修繕ほか 溝口小:防排煙制御設備修繕、プールろ過機修繕ほか ・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
1-(3) 人々にやさしい 学校教育環境の整備(つづき)	④ 安全安心で 質の高い教育を支える 教育環境の整備	37	49	小学校施設修繕事業	総務 学事	小学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 岸本中:トイレ修繕、アルミ建具修繕ほか 溝口中:空調修繕、トイレ建具修繕 ・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
	⑤ 安全安心で 質の高い教育を支える 教育環境の整備	38	50	中学校施設修繕事業	総務 学事	中学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 岸本中:トイレ修繕、アルミ建具修繕ほか 溝口中:空調修繕、トイレ建具修繕 ・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業						評価
施策方針	事業方針	番号	前年度の番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等	
								1-(3) 人々にやさしい 学校教育環境 の整備 (つつき)
40	52	学校安全体制整備 推進事業	総務 学事	小学校において、実践的事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。	・中学校区ごとにスクールガード・リーダーを各1名配置。定期的に学校・通学路等の巡回、児童・生徒への指導、学校への助言等を行った。 ・今後もスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を継続し行う。今後、後継者の人材確保を検討していく必要がある。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上		
41	53	バス事業担当課 との連携	総務 学事	バス事業担当課と連携をとり、スクールバスによる通学を、より安全かつ充実するよう運行体制の充実を図る。	・関係機関等と協力し、スムーズなスクールバス運行体制を確保した。 ・引き続きバス担当課と連携をとり、ニーズ等を踏まえた利便性の高い運行体制やバス利用の際のマナーの徹底などに取り組む。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上		
42	54	ICT環境の整備	総務 学事	ICT教育の充実を図るため、設備・ソフト等ICT環境を整備する。	教員支援のためのICT支援員の配置(2名)、導入機器の保守管理・トラブル対応、ファイルタリゲソフトの導入による有害サイトアクセス制限やオンライン授業で発生する著作権料支払い(授業目的公衆送信補償金)等により、効果的かつ安定的なICT活用体制を整備した。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上		
43	55	防災教育・避難 訓練・防災関係 計画の充実	総務 学事	防災教育・避難 訓練・防災関係 計画の充実	各学校毎に防災教育・避難訓練・避難計画作成等を行い、災害時等における児童生徒の安全確保に努める。	・引き続き、ICT教育充実のために設備等の修繕等、環境整備を図るとともに、教員支援も行う。 各学校作成の学校安全計画や危機管理マニュアルに基づき、防災教育、避難訓練等を実施した。浸水想定区域や土砂災害警戒区域にある学校については、水防法及び土砂法に基づき避難確保計画を策定し、緊急時に備え各小中学校で避難訓練等を実施した。 ・今後は、避難確保計画等に基づき防災・避難訓練などを行い、緊急時の対応能力を高めるほか、PDCAサイクルにより計画等の実効性を高めていく必要がある。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	

計画分類		主な事務事業					評価		
施策方針	事業方針	番号	前年度の番号	事業名	担当	事業概要		主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備(つつき)	② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つつき)	44	56	学校給食施設管理運営事業	給食センター	安心・安全な学校給食を提供するため、給食センターの適切な管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 調理業務等の民間委託を引き続き実施(現契約は令和4年度まで)。 各種細菌等検査の実施、清掃・衛生の徹底など。 調理委託事業者から報告があった調理用品等の不具合修繕、買い替え。 学校給食食物アレルギー対応委員会を開催し、アレルギー対応の問題点等がなにか確認を行なった。 学校給食だよりに給食のレシピを毎月1品ずつ掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、安心安全な学校給食提供に支障が出ないよう、事務等を進め、アレルギー対応については、問題点等があれば改善していく。 	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		45	57	学校給食費補助事業	給食センター	給食費の保護者負担を軽減するため、1食につき150円の補助を実施する。 1食当り保護者負担額 小学生140円、中学生190円	<ul style="list-style-type: none"> 保護者負担の軽減と安定的な給食の供給ができた。 ・150円/食 補助額 22,295,550円 令和4年度からは、学校給食費1食当り10円を値上げするが、併せて補助額を1食当り50円増額し、200円の補助を行い、保護者負担の軽減を図っていく。 1食当り保護者負担額 小学生100円、中学生150円 	<ul style="list-style-type: none"> 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上 	
		46	58	食材供給連絡協議会との連携	給食センター	伯耆町内の農業生産者で構成する組織である食材供給協議会と連携しながら、伯耆町産の食材使用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 協議会との調整会議を月1回開催 伯耆町産使用率【鳥取県調査対象の44品目(野菜だけでなく、魚介類等も対象)のみの割合】54.1%(前年度45.2%) 町内産のみで賄えた主な食材 白ねぎ、かぼちゃ、冬瓜、ヤーコン、そうめんかんぼちや、メロン、梨、ズッキーニ、いちご、ゆず等 町内産食材の使用率の一層の向上 協議会会員の高齢化等に伴い、会員数が徐々に減少。町内生産者の拡大を図ることが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上 	
		47	59	伯耆町教育振興会事業 ・学校事務	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 共同実施で取り組む業務の改善と標準的な職務内容を理解し校務運営に参画することを重点目標として、定期的な会合を開催し、共同学校事務室で取り組む事項についての業務分担・調整や防災に関する研修などを行った。 効率化及び負担軽減のため、担当を決め、各学校で行っていた各業務を一元化した。 令和3年度から導入された共同学校事務室での業務について更に調整・検討していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上 	

計画分類		番号	前年度の番号	事業名	担当	事業概要	主な事務事業		評価
							事業方針	主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(3) 人にやさしい 学校教育環 境の整備 (つつき)	② 安全安心で 質の高い教 育を支える 教育環境の 整備(つつ き)	48	29	青雲寮管理運営 事業	総務 学事	溝口中学校生徒の冬期間の寮として 使用していた青雲寮を、町内社会体育 団体の合宿や通学合宿に利用すると もに、適切な施設の維持管理及び運用 に努める。	改修後令和3年度に青雲寮の管理については、溝口中学校調理教室を青雲寮に 移転したことにより、溝口中学校に管理移管を行った。 適切な施設の維持管理及び運用に努めた。 継続して適切な維持管理を行う。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
2-(1) 学校・家庭・ 地域・行政 の連携	① 家庭・教育 の充実	49	2	家庭教育支援事 業	生涯 学習	家庭の教育力の向上や子どもたちがマ ナー・自立心等を身につけるための支 援を行う。	・コロナ禍の状況下、各保育所、学校における家庭教育・子育て講演会が中止と なった。 ・1歳6か月検診の待ち時間を活用して、家庭教育支援チーム事業「読み聞かせの すすめ」を実施(2回) ・今後も保育所・小中学校、家庭教育支援チームとの連携を図り、親育ちの観点で 取組を推進する。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		50	3	家庭教育ハンド ブック配布及び活 用事業	総務 学事	小学校1年生から中学校3年生までの 発達段階に応じた家庭学習や正しい生 活習慣について、解説した「家庭教育 ハンドブック」を小学校新入生に配布 する。	・小学校入学生への配布の際に、就学前から中学校卒業を見据えた町HP掲載の 3冊(前期編・中期編・後記編)の紹介を行い、活用を促した。 ・学年懇談・学級懇談で、話題とする事項に関連するページを配布。 ・学校運営協議会でも学習時間の目安など、記載内容について話題に取り上げ、 共通理解を図った。 ・今後も、家庭教育ハンドブックの配布を引き続き行いたい。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		51	1	PTA協議会補助 金	生涯 学習	町内小中学校6校のPTAが合同で活 動を行う伯耆町PTA協議会に対し補助 金を交付することで、PTA活動の活性 化に寄与する。	例年町と共催で講演会を開催し、講師料に対する補助金を支出しているが、令和3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により補助対象となる事業が実施されな かったため、補助金交付は無かった。 伯耆町PTA協議会との連携体制を継続しつつ、PTA活動の活発化に向け支援す る。 伯耆町PTA協議会が事業実施される際には、補助金を交付する。		

計画分類	主な事務事業				評価	
	施策方針	事業方針	事業名	事業概要		
2-(1) 学校・家庭・地域・行政の連携(つづき)	② まち全体で子どもを育む地域と共々に創る学校の推進	52	学校運営協議会 運営事業	<p>学校運営協議会制度(コミュニティ・スクールの導入し、保護者・地域・学校が一体となって、学校経営に参画し、地域に開かれ、地域に根差した学校づくりに取り組む。</p> <p>平成30年度からは、各学校運営協議会の調整、学校支援活動の情報提供や地域学校協働本部事業の運営を行うため、CSディレクターを配置した。</p>	<p>主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等</p> <p>・全小中学校で学校運営協議会指定及びCSディレクターを配置し、各コミュニティ・スクールや地域学校協働本部事業の連携、調整・情報共有等を推進する「柏書町教育ネットワーク会議を設置すること、一体的に「地域」ともにある学校づくりを推進することができ、教職員の地域に対する意識改革や地域・保護者の学校経営への理解を深め、積極的な協力が得られるようになった。児童生徒も地域に目が向くようになった。</p> <p>・学校運営協議会の取組を広報誌で紹介するなどして、町民へのさらなる周知を行いたい。</p>	<p>継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p>
		53	地域学校協働本部事業	<p>地域住民が教育に関心を持ち、学校の教育活動に関わることで、子どもたちに多様な体験と交流の機会を提供し、確かな学力と人間力を向上させる。大人にとっても、新しい仲間づくり、生きがいづくりなど、地域の絆づくりに繋げる。</p>	<p>①支援実績 学習支援235件、環境整備119件、学校行事8件、児童生徒による地域貢献11件</p> <p>②会議 コーディネーター定例会7回</p> <p>③研修 全国コミュニティ・スクール研究大会 県コミュニティ・スクール推進研修会兼地域学校協働活動研修会</p> <p>※いずれもデジタル・フォーラムで配信されたものを視聴し、資料や内容をまとめて各校に配付した。</p> <p>・新しい生活様式の下での持続可能な学校支援ボランティア体制の充実。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進。</p> <p>・学校教職員と学校支援コーディネーターとの連携・協働による、社会に開かれた教育課程の実現に向けた取組及び小中一貫した流れに沿ったコミュニティ・スクールの取組推進。</p>	<p>継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p>
		54	柏書町教育ネットワーク会議事業	<p>社会の一員として自立していく児童生徒育成に向け目指す人間像を設定し、その実現に向けた保小中一貫した共通の取組等の協議を行う。</p>	<p>「あいさつ」の響きあう町「柏書町」の取組を推進するために、学校・保護者だけでなく、より広く地域住民と目標を共有する取組を進めた。→ チラシ、ポスター、広報紙、防災無線、のほり旗等の広報活動を工夫しながら、効果を上げた。ネットワーク会議はコロナ禍の為実施できなかった。</p> <p>引き続き、関係機関、地域住民に運動を広げていくために、あいさつ運動に関するアンケートによって実態を把握し、広報誌等を活用した広報活動を行う。</p>	<p>継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p>

計画分類	主な事務事業				評価		
	施策方針	事業方針	事業名	担当			
2-(1) 学校・家庭・ 地域・行政 の連携(つづ き)	② まち全体で 子どもを育 む地域と共 に創る学校 の推進(つづ き)	55	子供の体験活動 事業	総務 学事	事業概要 各学校で独自の取組みを行っているほか、学校支援地域本部事業と連携し、地域の協力を得ながら、体験活動を実施している。	主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		56	放課後子供教室	生涯 学習	子どもたちの放課後の居場所づくり・保護者の就労支援のほか、子どもたちが安心・安全に過ごしつつ、異学年交流・地域の大人との交流や体験活動などを通じて、コミュニケーション力や地域へのつながりを育む。また、放課後児童クラブとの連携も図り、一体型の取組を進める。	主な活動 ・体方づくり、学習、読み聞かせ、工作等 ・季節を重視したプログラム、指導者の得意分野を生かした指導の工夫等 ・一体型の工夫 ・児童クラブ指導員との連携による教室の開催・見守り体制の工夫 ・安全管理マニュアルの活用と安全面を十分に配慮した活動。 ・指導する人材の確保と指導体制の充実(情報共有による活動状況の把握と改善に向けての協議) ・多様な子どもたちの特性を理解した運営(学校との連携)。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
2-(2) みんなで取 り組む、青少 年の健全育 成	① 「共育」「見 守り」環境の 整備	57	伯耆町教育振興 会事業 ・地域教育	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	専門部研修会の開催、地域とともにある学校づくりフォーラムへの参加を計画していたが、新型コロナウイルス感染症感染状況により中止。 ・「地域の資源(人、もの)を知るための事業」として、各学校のコミュニケーション担当者や学校支援コーディネーターの情報交換会開催を検討する。	
		58	青少年育成伯耆 町民会議運営支 援	生涯 学習	地域全体で青少年の健全育成の推進を図ることを目的に、町民会議を支援し各種事業を行う。	・委員会の開催(新型コロナウイルス感染症対策により書面開催(2回)とした) ・青少年育成伯耆町民大会は実施せず、伯耆有線テレビジョン放送で番組を作成し放映した。 ・町民あいさつ運動の実施(4回) ・マナーアップさわやか運動参加(新型コロナウイルス感染症対策により中止) ・少年を守る店啓発事業(22店舗) ・「家庭の日」標語の募集(応募数865点) ・「家庭の日」標語について、入選作品(33点)をCATVで放送するなど周知を図った。 ・青少年育成伯耆町民会議の活動を町民に広報やHPでの周知が必要。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類	主な事務事業				評価	
	施策方針	事業方針	事業名	担当		
2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つつぎ)	① 「共育」「見守り」環境の整備(つつぎ)	59	高校生サークル ((旧)高校生ユースセミナー)	生涯学習	<p>主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、活動ができないう状況にあり、積極的な新規加入への働きかけができなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動のリーダーとなる人物を茶掘・育成し、活動の充実を図る。 継続的に事業を行えるよう、新規参加者の確保について、工夫が必要。受け皿となる地域の団体との連携も必要。 中学生にもボランティアでの参加を募る。 	<p>継続事業達成不十分50%以上又は新規事業未達成30%以上</p> <p>▲</p>
		60	子供の体験活動事業	岸本 公民館	<p>学校、地域、公民館教室等の連携をもとに、自然体験、文化活動などの体験を通して子どもたちの協調性や社会性の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み体験事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にした。公民館主催事業の輿箱作りを時期をずらし9月に実施し、12名の参加があった。 土曜日のお楽しみでは、2回の開催で延べ24名の参加があった。 <p>引き続き八郷小児童も参加しやすいように八郷小学校を会場とした子ども体験事業の機会を設ける。</p>	<p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p> <p>○</p>
2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つつぎ)	② ふるさとを支える青少年の育成	7		溝口 公民館	<p>学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験、郷土学習、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図り、強くたくましく生きる力を持った子どもたちの育成を図った。高齢者教室の学園生や公民館各教室・同好会、また地域の方々の協力で、世代間交流を推進した。</p> <p>夏季休業中に1事業(前年2)を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。冬季休業中に1事業(前年2)を実施し、20名の参加があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの興味関心を喚起する工夫も大切にしながら、子どもたちに体験を通じて日本の伝統的文化等は継続発展させるよう取り組んでいく。 感染状況を勘案し、感染対策を講じながら実施する。 	<p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p> <p>○</p>

計画分類	主な事務事業					評価		
	施策方針	事業方針	番号	前年度の番号	事業名		担当	事業概要
2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つづき)	② ふるさとを支える青少年の育成	60(つづき)	7(つづき)	子供の体験活動事業(つづき)	日光公民館	<ul style="list-style-type: none"> 学校・地域・公民館教室等の連携を基に、自然体験や文化活動などの体験を通じて、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため土曜日のお楽しみ・夏休みのお楽しみ・溝口小学校の「冬みつけ」は全て中止とした。 日光地区協議会主催事業の「大山日光清流まつり」では、ヤマメつかみ取りなどの自然体験・地区住民同士の交流や義方校区の親子との交流を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止ため中止とした。 地区住民や日光地区協議会と連携し、日光の特色を生かした事業内容を工夫するとともに、内容を見直しながら無理の無い取組を検討していきたい。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとった上での事業実施方法の検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校・地域・公民館教室の連携をもとに、自然体験、ものづくり活動、地域歴史体験などを通して、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。また、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で事業が十分に開催出来なかった。感染対策を講じながら、森のようちえんの子どもたち・保護者及び二部地域で活動している団体(つくしの会、二部梁山泊、だんだんプロジェクトなど)と協力し事業を実施した。 夏休みの事業は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で中止にした。 実施回数: 9 延べ参加人員: 208名 地域住民・子ども・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこうした連携事業を推進。 本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、4館合同の事業を継続していくき、子どもたちの交流を図る。 本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、米子高専出前講座など、専門的な体験のできる講座を引き続き開設する。 	<p>○</p> <p>継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p>
						<ul style="list-style-type: none"> 学校・地域・公民館教室等の連携を基に、自然体験や文化活動などの体験を通じて、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため土曜日のお楽しみ・夏休みのお楽しみ・溝口小学校の「冬みつけ」は全て中止とした。 日光地区協議会主催事業の「大山日光清流まつり」では、ヤマメつかみ取りなどの自然体験・地区住民同士の交流や義方校区の親子との交流を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止ため中止とした。 地区住民や日光地区協議会と連携し、日光の特色を生かした事業内容を工夫するとともに、内容を見直しながら無理の無い取組を検討していきたい。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとった上での事業実施方法の検討が必要。 	<p>○</p> <p>継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p>	

計画分類	主な事務事業					評価		
	施策方針	事業方針	番号	前年度の番号	事業名		担当	事業概要
2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つつき)	② ふるさとを支える青少年の育成(つつき)	61	92	成人式	生涯学習	明日の伯耆町を担う若者たちが、社会人として新たなスタートを切る節目に、成人を祝福し激励する記念式典を開催する。	コロナウイルス感染拡大防止のため、県内居住者限定で実施した。10月10日(日)開催 伯耆町農村環境改善センター 参加者24名。記念品贈呈(フォトダイアリー)、式典オンライン配信、Zoomミーティング実施。 ○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		62	93	通学合宿事業	生涯学習	「青雲寮」で子ども達が共同生活を行いながら通学することにより、子ども達の協調性や社会性を高めるとともに、親への感謝の気持ちを養うよう努める。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 長期宿泊を伴い、密の状況となりやすい事業のため、コロナ禍での実施の検討、安全対策の検討が必要。	
		63	115	読谷村教育交流	生涯学習	沖縄県読谷村と伯耆町の子どもとの交流を通じて、それぞれの伝統文化に触れるとともに、子どもの健全育成に寄与する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため相互交流は中止。代替事業として、平成27年度以降の交流会参加者(中学生、高校生)に呼びかけ、オンライン交流を実施(参加者13人)した。 ○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類	番号	前年度の番号	事業名	担当	事業概要	主な事務事業		評価	
						事業方針	主な成果等		
3-(1) 豊かな生活を創る学びの推進	64	60	公民館改修又は空公共施設の有効活用	溝口 公民館	溝口中学校特別教室棟の老朽化のため改修が必要な状況のため、調理教室を青雲寮に移転することで施設の有効活用を図るよう、令和2年度に改修工事を完了した。	生涯学習	<p>① 生涯学習の推進</p> <p>主な課題・改善方針・今後の展開等</p> <p>・改修後令和3年度に青雲寮の管理については、溝口中学校に管理移管を行った。</p> <p>事業完了 更なる有効活用を図ることが必要。</p> <p>公民館改修工事を完了し、施設の長寿命化、省エネ化及び利用者の利便性の向上を図った。</p> <p>屋上防水改修、外壁塗装等、トイレ洋式化、床劣化部修繕、ガラス飛散防止フィルム貼、空調システム更新、照明LED化(一部)、インターロッキング撤去・舗装、スロープ化</p> <p>事業完了 更なる有効活用を図ることが必要。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により本格的な公民館活動が10月以降と回数の大幅減となった。</p> <p>・松栄学級(高齢者学級、受講生33名)は、新型コロナウイルスの影響により4回の開催(前年6回、通常は10回)で延べ71名の参加があった。</p> <p>・成人・男性各講座は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。</p> <p>・家庭教育支援講座は、親子写真教室(植田正治写真美術館フォトスクール参加)を開催し、12組24名の参加があった。</p> <p>・八郷地区の住民に対し、生涯学習機会の提供を図るため令和元年度から図書館と連携し八郷小学校を会場に出張公民館・図書館を年10回程度計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。</p>	◎	新規事業目標達成90%以上
								<p>生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)</p> <p>年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。</p> <p>また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。</p>	◎
				岸本 公民館			<p>生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)</p> <p>・松栄学級の受講生数は、平成30年度から35名程度で推移しているが、年々減少傾向にある。アンケートを反映し、町外研修や参加してみたい講座を実施する。また、送迎バスを運行していること等周知を図る。</p> <p>・成人講座及び男性講座は、コロナ禍でも楽しみながら学習している過去の出張公民館・図書館は、参加者は少人数だが楽しみながら学習している過去の実績もあり、引き続き実施する。八郷小学校を利用していることもあり、平日の限定された時間の開催となっている。また、会場までの交通の便、参加者や年代層の固定化が課題。</p> <p>・貴寿美学園(高齢者教室) 町内外研修 計4回開催 延べ77名(昨年199名)参加。高齢者へ他機関と連携して様々な分野から学びの場を提供し、生きがいや健康づくりと合わせ、他の公民館との交流促進を図った。</p> <p>また、布給本づくり体験教室を月2回のペースで開催し、参加者アンケートでの振り返りは満足度が高い。(延べ87人参加(前年192人)、年間15回(前年24回))</p> <p>・成人講座として手作り教室等については新型コロナウイルスのため中止とした。</p> <p>0回(昨年2回)開催、延べ0名(昨年33名)参加。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症対策のため事業規模縮小・中止となり、貴寿美学園については開講式が中止となった。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		65		溝口 公民館			<p>・学園生の高齢化に伴い、会員は減少傾向にある。引き続き継続して呼びかけを行っていききたい。学園生や住民のニーズを捉えながら、学びの多い研修・講座を企画していききたい。学園生は、令和2年度65人 ➡令和3年度64人で微減となった。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類	番号	前年度の番号	主な事務事業			評価
			事業名	担当	事業概要	
施策方針 3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つき)	61		事業方針	二部 公民館	・地域住民・子供・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこ うした連携事業を推進していきたい。 ・4館合同の事業を継続していきたい。子供たちの交流を図りたい。 ・米子高専出前講座など、専門的な体験のできる講座を引き続き開設していき たい。 ・多々楽学園・女性学級ともに、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言等により活動 期間が10月から12月の3ヶ月間に止まった。。 ・多々楽学園：会員数46名、事業実施回数7回、延べ参加者数114人 ・女子学級：会員数43名、事業実施回数6回、延べ参加者数78人 ・引き続き会員等のニーズを把握しながら、学びの多い研修・講座を企画したい。 ・会員数はいすれも横ばい傾向であるが、既会員の呼びかけや、地域での呼びか けを行い、多くの地域住民に参加いただけたらという努力をしたい。 ・日光学園(高齢者教室 受講生27名)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のた め、開講式・町外研修・健康づくりフォーラムへの参加の計3回延べ34名の参加に とどまった。 ・ふさと学級では、先進地視察・男の料理教室・ナメクジ山ハイキング等を計画し ていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止とした。 ・日光学園生の高齢化により、会員が減少している。 ・日光学園生以外の参加を促すため、地区住民に行事を周知したい。 ・住民ニーズに合った魅力のある事業内容を検討していきたい。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとった上での事業実施方法の検討が必 要。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
			① 生涯学習の推進(つき)			
	66	62	高齢者教室交流 事業	溝口 公民館	各公民館の高齢者教室合同研修会の開催により、日頃の学習成果の発表を 行なうと共に、相互の親睦と交流を深 める。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類	主な事務事業					評価
	前年度の番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等	
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つき)	67	社会教育委員	生涯学習	社会教育の推進のために法に基づく委員を委嘱し、社会教育施策等について、事業計画・事業実施結果等の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会開催(3回)第1回目は書面開催 社会教育に関する政策等について意見聴取を行った。 教育委員会の諮問を受け成人式について検討し、答申を行った。 県主催の研修会など、独自に勉強していただく機会の場を提供する。 	<p>継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p> <p>○</p>
	68	生涯学習まちづくり推進事業	公民館	生涯学習に関する各種学習情報や発表の場を提供することで、生涯学習への参加を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> CATV、町広報等を活用しての情報提供、学習相談 ほうき生涯学習ニュースの発行(毎月) 伯耆町ホームページで生涯学習に関する催し物、情報提供 四館の公民館同好会(教室)募集中ラジをまとめて、区長便で全戸配布 八郷地区住民を対象に生涯学習の機会を提供するため、八郷小学校の協力により、令和元年度から八郷小学校を会場に公民館出前講座を開催した。 今後も住民意見に耳を傾け、より伝わる広報活動に心掛ける必要がある。 	<p>継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p> <p>○</p>
	69	社会教育主事等の育成	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 西部市町村の社会教育主事等で構成する西部地区社会教育担当者研究協議会及び西部地区社会教育協議会に参加し、情報交換や共同事業を実施した。 資質向上のため各種研修会に参加するとともに、事業の企画立案を行い、経験を積むことができた。 今後も継続して研修会等に参加し、資質向上や情報交換に努める。社会教育主事は1名発令されている。必要に応じて、新規の社会教育主事講習受講者を増やしていきたい。 	<p>継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p> <p>○</p>

計画分類	主な事務事業					評価		
	事業方針	番号	前年度の番号	事業名	担当		事業概要	主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等
3-(1)心豊かな生活を創る学びの推進(つぎ)	①生涯学習の推進(つぎ)	70	66	地区公民館との連携	公民館	地区公民館との連携を強化するため、公民館定例会(各館長と生涯学習室職員が参加)を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習室と各公民館で定例会(月1回開催)を開催し、行事内容の打合せや業務内容などの相互調整により、円滑な業務連携を行うことができた。 情報交換等により、有効な事業を他の公民館も実施するなど、良好な連携ができており、継続実施する。また、小中学校を活用した公民館活動について、学校運営協議会などで検討し、学校と地域が連携した取り組みを推進したい。 特に新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る共通認識を図った。 	<p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p> <p>○</p>
3-(1)心豊かな生活を創る学びの推進(つぎ)	②読書活動の推進	71	67	図書館管理事業	図書館	<ul style="list-style-type: none"> 図書館関係部門の連携を強化するため、図書定例会(図書館長と図書館職員、生涯学習室職員、文化センター職員が参加)を開催する。 市民の図書館への声や意見を集約し、市民に役立つ図書館にするために、図書館協議会を開催し図書館運営について協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年12回の図書館連絡会を開催し、図書館の活動内容を確認するとともに、選書、改善点等について検討・協議し、より良い図書館づくりを推進した。 年4回の図書館協議会を開催し、幅広い年代の方に参加していただき、図書館運営について建設的な意見をいただくことができた。地域文化の中核としての図書館の在り方や図書館の課題について様々な意見をいただく場となっている。 図書館協議会では図書館活用に関する幅広い意見、課題をいただいていた。その中でも地域による活用格差が課題として挙げられてきている。その解消ため、令和元年度より、希望地域に出前図書館を開設した。協議会では、出前図書館の在り方や周知の必要性などについても検討がなされている。 町内には図書館を支えてくださる多くの方の存在があり、今後自治的に図書館運営に参加していただける「図書館友の会」の発足を目指していく。 	<p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p> <p>○</p>

計画分類	主な事務事業				評価
	施策方針	事業方針	事業名	事業概要	
3-1) 心豊かな生活を開る学びの推進(つづき)	②読書活動の推進(つづき)				継続事業目標達成90%以上又は新規事業はほぼ達成70%以上
		72	図書館振興事業	<p>・利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、親しみやすく、かつ開放的な施設として、また町づくり、人づくりに役立つ施設として、新規事業を加えながら、各年代への読書推進に努める。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けて各種事業を行う。</p> <p>・図書館らしい事業づくりとは、おはなし会、読み聞かせコンサート、音読教室等、図書館資料を活用した事業であると考え取り組んでいる。また、子供の読書活動の推進は、子育てに直結している。啓発活動の一環として、読み聞かせの重要性やスマホの弊害などを保護者に啓発しながら、子育て支援に積極的に参加していく必要がある。令和3年度は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、様々な啓発活動を中止としたが、今後安心安全な形で再開していく。</p> <p>・布絵本は乳幼児が触っては遊ぶことに特化した知育玩具であるので、今後町内の保育施設に貸し出すなど、有効活用を検討していく。</p> <p>・令和3年に中学校の教科書が改訂されたことから、図書館としても授業に活用できる資料を新たに選書し、レファレンスに備えていく。また小学校の教科書改訂にかかるとレファレンス資料も引き続き準備していく。</p> <p>また、学校司書、司書教諭の相談を受けることが可能となるよう、図書館職員の研修を図りながら、学校図書館支援センターとして機能を整備する。</p>	
		68	図書館振興事業	<p>・利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、親しみやすく、かつ開放的な施設として、また町づくり、人づくりに役立つ施設として、新規事業を加えながら、各年代への読書推進に努める。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けて各種事業を行う。</p> <p>・図書館らしい事業づくりとは、おはなし会、読み聞かせコンサート、音読教室等、図書館資料を活用した事業であると考え取り組んでいる。また、子供の読書活動の推進は、子育てに直結している。啓発活動の一環として、読み聞かせの重要性やスマホの弊害などを保護者に啓発しながら、子育て支援に積極的に参加していく必要がある。令和3年度は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、様々な啓発活動を中止としたが、今後安心安全な形で再開していく。</p> <p>・布絵本は乳幼児が触っては遊ぶことに特化した知育玩具であるので、今後町内の保育施設に貸し出すなど、有効活用を検討していく。</p> <p>・令和3年に中学校の教科書が改訂されたことから、図書館としても授業に活用できる資料を新たに選書し、レファレンスに備えていく。また小学校の教科書改訂にかかるとレファレンス資料も引き続き準備していく。</p> <p>また、学校司書、司書教諭の相談を受けることが可能となるよう、図書館職員の研修を図りながら、学校図書館支援センターとして機能を整備する。</p>	○
				<p>主な成果等</p> <p>主な課題・改善方針・今後の展開等</p> <p>(1)子育て支援事業 ・ブックスタート事業(年12回)、ブックセカンダ事業、ブックサード事業、にここおはなし会、乳幼児出前おはなし会、保育施設への本の配送 ・家庭教育・子育て支援チームとの連携、読み聞かせの効用・スマホ弊害等啓発 (2)学校支援事業 ・団体貸出し及び本の配送・土曜事業・施設見学・職場実習受け入れ ・学校図書館支援センターとしてのレファレンスの確立 ・町教振図書館部会との連携により、各学校における図書館教育の充実支援 一町小中学校共通年計の作成(県立図書館と協力)指導案の作成 一図書館教育推進町 (3)読書活動推進事業 ・こどもの読書週間事業 ・秋の読書週間事業 (4)高齢者支援事業 ・あたまいきいき音読教室 ・高齢者福祉施設への本の配送 ・出前図書館 (5)広報事業 ・図書つうしん発行 ・町ホームページ掲載 ・CATVIとつづき図書館コーナーの充実 (6)研修事業 ・鳥取県図書館大会への協力 ・県内図書館視察 ・県立図書館主催研修参加 (7)検索機器導入 ・全農協データ(アークタイプ)検索 ・朝日新聞全データ検索可能(1985年以降) (各館独自事業) 【溝口図書館】・布絵本ちくちく教室開催(15回) 令和3年度は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、各コンサートを中止した。</p>	

計画分類		番号	前年度の番号	事業名	担当	事業概要	主な事務事業		評価
施策方針	事業方針						主な課題・改善方針・今後の展開等	主な成果等	
3-(1) 心豊かな生活 を創る字 びの推進(つ づき)	②読書活動 の推進(つづ き)	73	69	図書館協議会 委員	図書館	・図書館事業の推進のために法に基づ く委員を委嘱し、事業計画・事業の実施 結果の説明や意見聴取を行い、計画 の推進・事業の見直しなどを行う。	・図書館協議会を年4回開催し、広く地域の方から意見を聞くことができた。計画推 進の後押しをしていただくことができた。 ・町内の読書活動において地域差が存在することから、「出前図書館」の開設が始 まったが、図書館協議会では、さらに発展した事業として移動図書館車の導入の 意見をいただいている。色々な面から困難な点もあるが、今後とも検討を重ねてい きたい。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
3-(2) 人権尊重の まちづくりの 推進	① 人権尊重の まちづくりの 推進	74	98	人権教育推進事 業	人権 政策	人権教育推進を目的に、人権教育推 進員を配置し、人権に関する諸問題を 学び・理解していただくための各種事 業を行う。	人権教育・啓発活動の企画運営及び、各種学習会を実施した。 ・ひまわりセミナー開催8回実施(内4回放送講座)参加者65人 ※新型コロナウイルス感染症対応により2回中止 ・研修会へのオンラインでの参加 コロナ禍で事業の中止があいつぐ中、ひまわりセミナーでは、伯耆町がスタジオを もっている強みを生かして、放送講座、DVDの貸し出しによる啓発といった新たな 手法をとり入れた。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	
		75	99	人権教育・啓発 推進協議会運営 事業	人権 政策	伯耆町人権教育・啓発推進協議会の 運営・活動を支援するとともに、各種事 業を開催し、人権教育・啓発の推進を 図る。	(1)人権教育・啓発に関する調査研究及び実践 ・各種人権週間広報啓発活動 ・行政職員研修(差別対応マニュアル等)について4回実施・参加者150人) ・人権啓発標語の募集及び表彰(応募数686点) (2)研修会及び講演会の開催 ・明るいまちづくり懇談会中止(参加型学習で、令和4年度に延期) ・伯耆町人権フォーラム2021(参加者122人) (3)資料の刊行及び啓発 ・人権カレンダーの作成・配布(町内全戸・企業) ・伯耆町人権だよりの作成・配布(町内全戸) ・自主製作したDVDを事業所部会の企業へ訪問配布 (4)関係機関団体との連携 ・研究校の指定と授業研究会の開催(中止) ・研修会への参加(オンラインによる参加) ・各種団体の活動支援 新型コロナウイルス感染防止のため明るいまちづくり懇談会等の啓発活動ができ なかったため、事業所部会訪問・行政職員部会研修等こまめな啓発、新たな研修 等、できることを行った。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	

計画分類	主な事務事業				評価	
	施策方針	事業方針	事業名	事業概要		
3-(2) 人権尊重のまちづくりの推進(つづき)	76	100	文化センター管理運営事業	<p>地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題解決のための各種事業を総合的に取り組んだ。</p>	<p>主なる成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区学習会(小中:5~3月、月2回) 小学生(6人) 15回(たくしクラブも参加) 延べ220人(内たくしクラブ146人) 中学生(1人) 13回 延べ23人(地区生徒13人) ・地区学習会だより「ひまわり」を発行し、保護者との連携を図ることができた。 ・相談事業 随時 ・各種教室・講座 4教室、各種講座 延べ47回 339人参加。 ・ミニデイスーパー事業 ・ゲーム、レクレーション、創作活動、会食などを取り入れ、楽しめる憩いの場として定着。地域活動への参加につながっている。延べ9回152人参加 ・百円ランチ 10回 148人 ・交流研修事業 <ul style="list-style-type: none"> ・町内外からの研修を受け入れて地区の歴史・体験・活動などを伝え、人権意識の高揚や差別解消に努めたが、コロナにより参加団体が減少した。 ・研修会2回 参加者43人 ・年間を通じての体験教室、講座で作品作りを行い、2月開催「だんだんまつり」へ多くの作品を展示するよう計画していたが実施できなかつた。 ・その他児童館事業、講演会、センターだよりの発行等を実施し、人権教育推進や地域活性化に努めた。 ・新型コロナウイルスの中で事業を実施する困難があった。会食に代わり弁当配布を実施した。今後も実施方法を工夫しながら進めたい。文化センターでの小中学生の人権学習については、なかま学習・交流を深めることができたが、地域改善も含め地域の歴史等を教えることについては、課題(差別的助長、噂た子を起こす論議的な考え)があり、引き続き検討が必要である。 ・環境面の地区改善に関する相談も多かったが、引き続き法律等の相談業務の拡充を図りたい。 	○
				77	101	男女共同参画推進事業
	78	102	町営住宅修繕事業	<p>老朽化が進行する町営住宅の修繕を行ない、住環境の充実に努める。</p>	<p>老朽化が進行する町営住宅の修繕を行い、住環境の充実を図った。</p> <p>町営住宅の適切な管理を行うため速やかな修繕に努める。</p>	○

計画分類	主な事務事業					評価
	前年度の番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等	
3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造	79	埋蔵文化財調査事業	生涯学習	開発に伴って事前に発掘調査を行い、埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事業者との調整を図る。	○清原所在遺跡(鶏舎建築) 令和3年9月27日～10月29日 56㎡ ○三部所在遺跡(三部支川砂防堰堤工事) 令和3年11月16日～令和4年3月4日 95㎡ ○長山所在遺跡(長山地区急傾斜地崩落対策工事) 令和3年3月11日～3月30日 8.7㎡	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	80	文化財保護事業	生涯学習	本町にある指定文化財等の維持管理及びを行う。また、出土品の展示や歴史文化に関する講演会等を開催し、郷土の歴史学習の機運を醸成する。	・国指定文化財 1件、県指定文化財 2件、町指定文化財 11件 ・指定文化財等の維持(草刈り、除草等)を実施した。 ・文化財保護審議会を開催し、指定文化財等の適切な管理等について協議を行った。(書面開催) ・企画展示「近代伯耆のタイムカプセル」12月19日～26日 矢田貝家住宅 63名 文化財保護審議会の意見を基に適切に指定文化財(藤屋炉床)等の管理に努める。 郷土の歴史や文化に触れることができるように講演会の開催や情報提供を行う。	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	81	文化財整理・保存施設管理事業	生涯学習	空き施設である旧鬼ミュージアムを文化財整理・保存施設として再整備するとともに、民俗資料及び文化財の常設展示を行い、貴重な資料・文化財を後世に伝える。	収納されている民具及び埋蔵文化財の整理作業を実施した。平成30年度に旧保存施設より移動したままの状態であったため、梱包の箱を開封し、内容、状態の確認をし、詳細な整理作業の準備として大まかな分類、移動を実施した。 埋蔵文化財の報告書作成(福島城)に多大な時間を要したため民具整理のスケジュールに支障をきたし、本格的な整理作業に踏み込めなかった。今後は、よりの確かなスケジュール管理及び進捗の確認を行う必要がある。	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		番号	前年度の番号	主な事務事業			評価
施策方針	事業方針			事業名	担当	事業概要	
3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき)	② 地域芸術文化の振興	82	106	地区文化祭・まつり開催事業	岸本公民館 溝口公民館	<p>今回の岸本公民館さきや祭はコロナ禍ではあるが、11月13・14日に岸本公民館を会場として開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検温、問診票の記入など感染症対策を行なったうえで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため岸本公民館で昨年度に引き続き作品展のみを開催し、他のイベントは中止した。 ・作品展は、岸本小体育館で2日間で244人の入場者があった。(前年度比20%増、前々年度比83%減) ・コロナ禍での公民館まつりのあり方を検討する必要がある。平時では、公民館で活動をしている教室・同好会に、引き続き発表や体験コーナーの参加を呼びかける。また、他公民館の出品も検討する。 ・溝口公民館祭は、3月20・21日に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、早い段階で中止の判断をした。したがって、実行委員会の立ち上げも行っていない。 ・各種同好会や教室の減少傾向がある中、広く町民から作品を募集することにより、一層町民の公民館まつりという意識化を図り、公民館同好会が中心となり、地域を巻き込んで、自分たちのまつりという機運を高めていきたい。 ・中学生ボランティアには自主性を尊重するとともに、負担感とまらないよう配慮し、参加した中学生の社会性の意識向上・醸成に繋がるよう努めたい。 ・第37回たたらまつりを2月26日～28日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。 ・開催にあたっては、地域住民の積極的な参画により、まさに「地域住民手づくり」のまつりにしていきたい。 ・地域住民が主体となった「二部地区手づくり」のまつりが開催できており、引き続き地域住民主体のまつりを企画運営していきたい。 ・第42回日光ふるさとまつり3月12日～13日開催に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。実行委員会を組織し住民参画により、地区住民・各種同好会の作品展・体験コーナー・農産物の即売・日光そば・餅つき等の催しの他に義功公民館の協力を得て海産物の即売を予定していた。 ・実行委員会では地区住民の意見を十分に取り入れて事業内容を検討。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとった上での事業実施方法の検討が必要。 	<p>継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上</p> <p>○</p>

計画分類	主な事務事業					評価		
	施策方針	事業方針	番号	前年度の番号	事業名		担当	事業概要
3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき)	② 地域芸術文化の振興(つづき)	83	107	写真美術館管理運営事業	美術館	美術館の運営を通じて、植田正治作品の紹介や地域の写真芸術・文化の振興に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年3月1日から4月9日までを臨時休館としたため、企画展の展示期間を調整した。 入館者数については、新型コロナウイルスの影響により低下が続いているが、昨年に比べ約2%増の13,551人となった。 企画展3回、地元新聞紙、その他雑誌等掲載 	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		84	108	写真美術館改修事業	美術館	施設の老朽化や損傷等について、更新・改修等を行うことで、展示環境や来館者の利便性・観覧環境の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人日本博物館協会による「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿った運営を行う。 定期的な館内除菌、換温、手指消毒の徹底等 	○
		85	109	鬼の館運営事業	生涯学習	本町の文化拠点として、文化に直接触れる機会を提供、各種団体の研修や町内サークル等の発表の場として文化団体の支援・利用促進及び施設の維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は予算計上なし エレベーターの保守部品供給が令和5年で終了するため、令和4年度で更新を予定している。 	◎
		86	110	地域文化活動の支援	生涯学習	豊かであるおおいのある生活を創造するため、芸術文化の振興・育成を図り、町内芸術文化事業を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> 建築から27年が経過し、設備の老朽化や不具合箇所などが発生したため改修を行い、施設の長寿命化を図った。併せて、バリアフリー化と省エネ化等の整備を行った。 引き続き文化団体や個人の発表の場を提供するとともに、住民が文化に直接触れる機会を提供していく。 	○
		87	111	文化活動団体支援事業	生涯学習	町内の芸術文化活動を行う団体への支援を行ない、文化活動の振興に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 地域文化活動の支援のため、伯耆町文化振興会の支援と、各種文化事業を計画した。 事業によっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 文化振興会の支援 詳細はNo.88参照 伯耆町美術展 11月20日(土)～22日(月) 伯耆町民音楽祭 収録放送形式として実施(放送日 元旦) ジャズフェスタ(中止) くろぼくコンサートの支援 住民と一体となって、芸術文化の振興を図っていく。 	○

計画分類	主な事務事業					評価	
	施策方針	事業方針	事業名	担当	事業概要		
3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき)	② 地域芸術文化の振興(つづき)	88	文化振興会補助事業	生涯学習	町内の文化活動の活性化のため、伯耆町文化振興会を支援する。 会員数45人(令和3年3月現在)	<p>コロナ禍のため、例年の事業を大幅に縮小しての実施となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総務部会 ・総会(書面開催) ・文化講演会(中止) ・会報17号発行(全戸配布) ○音楽部会 ・町民音楽祭(参加11団体 収録放送形式として実施) ○美術部会 ・美術展(来場者336人) <p>・コロナ禍でどのように事業を実施していくか検討していく。 ・各部員が、より自発的に活動するよう、一層の意識改革が必要。組織のあり方の会の中で検討し意思統一していく必要がある。 ・役員、会員の高齢化。</p>	<p>継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p>
		89	教育委員会表彰事業 ※芸術文化の部	生涯学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化において、顕著な活躍をした者を表彰することにより、スポーツ・芸術文化の振興を図るとともに、被表彰者の今後の励みとなるよう住民に周知する。	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため表彰式は開催せず、大賞受賞者には教育長から授与、優秀賞以下については学校経由または郵送で賞状・記念品を配布した。</p> <p>受賞者:芸術文化の部 71名 スポーツの部 69名 7団体</p> <p>児童・生徒以外の一般の対象者の把握が課題である。</p>	<p>継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p>
		90	写真芸術・文化振興事業	美術館	写真芸術・文化の振興に資することを目的に、フォトコンテスト、ワークショップ、作品説明、フォトスクールの開催する。	<p>写真美術財団の事業として、例年フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップを実施しているが、新型コロナウイルスの影響により、ワークショップ及びフォトコンテストの表彰式は中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォトコンテスト 応募点数:一般の部584点(274人) 18歳以下の部:319点(237人) 審査員:織作峰子氏(写真家、大阪芸術大学写真学科学科長)、川本貢功氏(写真家、二科会) 写真部名誉会員)、平間至(写真家) 入賞・入選作品展示:11月3日(水)~11月29日(月) ・フォトスクール プログラム:作品鑑賞、デジタルカメラの基礎講座、撮影会、撮影会作品の講評 参加者数:10団体(町内小中学生他) 236人 <p>・メーカー側の経営悪化により、フォトコンテストへ景品供給が減っている。また、フォトスクール用のカメラの貸与も、1社のみとなったため柔軟に対応できなくなっている。新たな借入先を見つけるか、購入するか等の検討が必要。</p>	<p>継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上</p>

計画分類	主な事務事業					評価		
	施策方針	事業方針	事業名	担当	事業概要		主な課題・改善方針・今後の展開等	主な成果等
4-(1)生活の中にスポーツがある暮らしの支援	①幼児・小中学生のスポーツ活動の推進	91	子ども体力・運動能力等向上事業	総合スポーツ公園	保育所の幼児を対象とした体力や運動能力の向上を目的に、各保育所に指導員を定期的に派遣し、運動・運動遊び指導を行う。(スマイリースポーツクラブ委託事業)	町内5保育所で中・長年長児を対象に運動教室を開催。開催数61回に拡大実施。運動遊びなどを通じ、子どもの体力・運動機能向上に有効な事業であり、今後も継続実施する	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		92	伯耆町体育団体等補助事業・ジュニアクラブ活動支援	総合スポーツ公園	スマイリースポーツクラブに所属するジュニアクラブに対し補助を行い、児童生徒の健全育成、競技力向上、指導者等の育成及び地域スポーツの振興を図る。	ジュニアを対象にした各種活動を実施し、体力・運動能力・競技力向上や健康増進に寄与した。また、コロナウィルス対策等の情報提供を随時行った。 ・支援対象ジュニア団体 10種目12団体 ・伯耆町TVや団員募集冊子の配布など、会員増加に取り組みむとともに、認知度を向上させるための広報活動を行って行く。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		93	スポーツクラブとの連携による健康づくり	総合スポーツ公園	まめまめクラブ、元気アップ教室、アクアフィットネスなど町民の健康づくりを目的とした健康対策所管の各種事業をスマイリースポーツクラブと連携し実施する。	・高齢者運動教室「まめまめクラブ」は健康対策課が直営で開催することとなった。「元気アップ教室」及び、「アクアフィットネス」は健康対策課事業としては廃止されたため、スマイリースポーツクラブが主催して同様な運動教室を開催することになった。 健康づくり関連の運動教室をスマイリースポーツクラブが主催する形で実施していく【事業番号96に実績を記載】	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		94	スポーツ推進審議会事業	総合スポーツ公園	教育委員会のスポーツに関する諮問及び町のスポーツ推進に関する事項について研究協議を行う。	下記の項目を議題として審議会を1回開催した。 ・スポーツ推進計画(第2次)の進捗状況について ・中学校の運動部活動の在り方について ・第2次計画の施策実施に向け取り組んでいく。 ・感染症対策をとりながらスポーツ振興に取り組む手段について協議する。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		95	スポーツ推進委員事業	総合スポーツ公園	委員を委嘱し、町内のスポーツ振興・普及を図る ・町内体育行事の運営、協力 ・生涯スポーツの指導、普及啓発 ・総合型地域スポーツクラブの運営	・新型コロナウイルスの影響により各種研修会やスポーツ大会運営などのスポーツ推進委員活動が十分に実施できなかった。 ・スポーツ推進委員のうち、スマイリースポーツクラブに理事3名・監事1名が就任している。 ・スポーツ推進委員の認知度アップ対策 ・委員の定員は8名で任期は2年間である。令和5年度が改選となる	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類	主な事務事業					評価
	施策方針	事業方針	事業名	担当	事業概要	
4-(1) 生活の中に スポーツが ある暮らしの 支援(つづき)	②ライフス テージに応 じたスポーツ 活動の推進 活動(つづき)	スマイリースポ ーツクラブ支 援(スマイリー 独自活動支援 関係)	総合ス ポーツ公 園	スポーツを通じて地域住民の健康増 進・技術体力の向上を目的とする総合 型スポーツクラブであるスマイリース ポーツクラブが主催するスポーツ活動 に係る経費の一部について補助金を交 付し、活動を支援する。	健康づくり等を目的とした教室・大会を実施し町民の健康増進に寄与した。 ・スマイルフィットネス教室 20回220人 ・短期水泳教室 1期(4日間)32名 ・おーい集まれ親子運動遊び教室 4回89名 ・ほろきキッズアスレ 6回96名 ・キッズクロスカントリー大会 1回14名 ・町民体カテテスト判定会 1回26名 ・健康ウォーカーキング 1回38名 ・スマイリースポーツクラブはスポーツ庁・日本スポーツ協会が設立を推奨する「総 合型地域スポーツクラブ」であり、行政主導ではなくクラブ員や地域住民の意見を 取り入れたスポーツ活動を今後も実施していく方針。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
4-(2) いつでも気 軽にスポー ツができる 環境の整備	① いつでも気 軽にスポー ツができる 環境の整備	町内体育施設管 理運営事業	総合 スポー ツ公 園	町内の社会体育施設である体育館・武 道館・町民グラウンド・総合スポーツ公園 等の管理運営を行う。 また、管理運営に必要な備品・機材を 整備する。	各施設利用者数(前年比較) ※中学校部活利用は除く ・社会体育施設(町民体育館ほか) 22,249人(-1,775) ・総合スポーツ公園 22,496人(+4,291) 新型コロナウイルス対策の利用規制を行ったため令和2年度以降利用者が減少傾向であ る。 (主な施設修繕及び備品修繕) ・スポーツ公園ラジコン広場舗装修繕 ・町民グラウンド野球塁ベース取替修繕 ・スポーツ公園野球場給水管漏水修繕 ・スポーツ公園チビッコ広場法面修繕 ・溝口武道館排煙窓修繕 ・海洋センター事務所ブライインド等修繕 ・スポーツ公園チビッコ広場遊具修繕 (主な業務委託) ・スポーツ公園芝生等更新作業及び野球場内野整備 ・各体育館消防設備保守点検業務 (主な備品購入) ・除草作業用機械器具(乗用モア)購入 ・今後も安全で快適なスポーツ環境を提供できるように施設の管理運営を行う。	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類	主な事務事業					評価	
	施策方針	事業方針	事業名	担当	事業概要		
4-(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	① いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	98	体育施設改修事業	総合スポーツ公園	快適な環境で運動できるよう体育施設の修繕等を行う。	◎	新規事業目標 達成90%以上
		77	体育施設改修事業	総合スポーツ公園	快適な環境で運動できるよう体育施設の修繕等を行う。	・岸本武道館照明設備LED化工事 ・溝口武道館照明設備LED化工事 ・今後も安全で快適なスポーツ環境を提供できるように施設の改修等を行う。	◎
4-(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	① いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	99	伯耆町体育団体等支援事業 ・一般スポーツ団体等支援	総合スポーツ公園	スマイリースポーツクラブに所属する各体育部に対し補助を行い、競技力向上、指導者等の育成及び地域スポーツの振興を図る。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		100	各種スポーツ団体補助事業	総合スポーツ公園	伯耆町ゲートボール協会並びに伯耆町ゴルフ協会活動経費の一部を補助する。	・生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供に寄与した。 ・町内の団体・個人について、スポーツ公園グラウンドゴルフ場の使用料を無料とし、施設の有効利用促進を図った。 ※町大会運営や郡、県大会等さまざまな大会に参加されている。 ・今後も生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供できるよう、継続的サポートを行う。	○
4-(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	① いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	101	教育委員会表彰事業 ※スポーツの部 (No89事業の再掲)	生涯学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化において、顕著な活躍をした者を表彰することにより、スポーツ・芸術文化の振興を図るとともに、被表彰者の今後の励みとなるよう住民に周知する。	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		80	教育委員会表彰事業 ※スポーツの部 (No89事業の再掲)	生涯学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化において、顕著な活躍をした者を表彰することにより、スポーツ・芸術文化の振興を図るとともに、被表彰者の今後の励みとなるよう住民に周知する。	今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため表彰式は開催せず、大賞受賞者には教育長から授与、優秀賞以下については学校経由または郵送で賞状・記念品を配布した。 受賞者：芸術文化の部 71名 スポーツの部 69名 7団体 児童・生徒以外の一般の対象者の把握が課題である。	○

計画分類	番号	前年度の番号	事業名	担当	事業概要	主な事務事業		評価
						事業方針	主な課題・改善方針・今後の展開等	
4-③ スポーツでつながり広がる交流・連携の推進	102		地区運動会・その他のイベント開催事業	岸本 公民館	町民総スポーツの中心的事業として運動会を開催し、子どもから高齢者までの参加により地域の連帯感、親睦を深めた。 実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会岸本地区大会を10月3日に開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・アンケートにより、競技役員から出された課題を検討し、今後の企画・実施に反映させる。また、集落内の少子・高齢化等により参加集落が年々減っている傾向にある。町民運動会で各集落が楽しく参加しやすいよう参加種目・年代等検討する必要がある。あわせて感染症対策も考慮に入れながら種目等検討する必要がある。 ・町民運動会溝口地区大会を第3日曜日となる10月17日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。このことについては、共通認識のもと、各地区運動会の全てを中止とした。 ・平成29年度、平成30年度、令和元年度と3年連続で雨天中止となった。令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルスにより中止となった。令和4年度についても中止が決定している。実行委員会は、令和元年度を最後に開催していないため、令和5年度以降の開催にあたっては、事業を再構築するくらいの労力が必要になる。 		
								<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会二部地区大会 二部地区の町民のスポーツの中心的事業として計画し、10月3日実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。 ・二部地区のスポーツ・健康事業として、二部地区活性化推進機構主催による、グランドゴルフ大会、カローリング大会等を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。 ・町民運動会をはじめ、二部地区活性化推進機構や地域住民との連携した事業が定着してきており、継続した連携事業を実施していきたい。 ・運動会の実施については、新型コロナウイルス感染症を考慮した、種目内容の見直が必要である。
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> ・町民運動会日光地区大会を10月17日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 ・旧着町駅伝大会を10月10日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 ・運動会の競技内容の検討が必要であり、実行委員会で協議をする。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとった上での事業実施方法の検討が必要。 		

計画分類	番号	前年度の番号	事業名	担当	事業概要	主な事務事業		評価
						事業方針	主な成果等 主な課題・改善方針・今後の展開等	
4-(3) スポーツでつながり広がる交流・連携の推進(つづき)	103	83	生涯スポーツ振興事業	総合スポーツ公園	一般市民を対象としたスポーツ大会を開催する町内スポーツ団体等と連携し開催することで、各種スポーツの振興、市民の健康づくり及び市民の交流・親睦に寄与する。運営は、スマイリースポーツクラブに委託。	一般市民を対象とした町主催スポーツ大会を7事業を計画したが、新型コロナウイルス対策のため全て中止となった。 ・4月 ハットミント大会 中止 ・5月 ソフトテニス大会 中止 ・9月 野球大会 中止 ・10月 駅伝大会 中止 ・11月 ハレホール大会 中止 ・1月 ハットミント選手権大会 中止 ・3月 卓球大会 中止 ・今後は感染症対策をとりながら再開していきたい。		
			生涯スポーツ振興事業(ジュニアスポーツ大会関係)	総合スポーツ公園	町内の小学生を対象にしたスポーツ大会を開催し、スポーツに親しむ基礎づくり、体力・運動能力の向上及び小学生同士の親睦・交流を図る。	小学生を対象とした町主催スポーツ大会を4事業を計画したが、新型コロナウイルス対策のため全て中止となった。 ・5月 スナックゴルフ大会 中止 ・7月 B&Gチャレンジスポーツ教室 中止 ・9月 学童水泳記録会 中止 ・2月 B&Gジュニアハットミント大会 中止 ・今後は感染症対策をとりながら再開していきたい。		
4-(3) スポーツでつながり広がる交流・連携の推進(つづき)	105	81	オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆補助事業	総合スポーツ公園	全国の小学生を対象にトライアスロン競技を開催するための事業費の一部を助成する。	・第27回大会開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により参加者・保護者・役員等の安全確保が困難との判断から大会を中止した。 ・感染症対策・猛暑対策が大きな課題である。		
			スポーツ優秀選手支援事業	総合スポーツ公園	町内の特にレベルの高いスポーツ優秀選手に対する支援や顕彰を行うことで、意欲向上等による一層の活躍とスポーツに対する町民の関心を高める。	・全国大会等に出場する団体、個人に対し経費の一部を補助 10件 ・全国大会等に出場する団体、個人の看板を作成し、役場前に掲示 33件 ・今後も競技スポーツの振興を図るため支援を継続実施する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
4-(3) スポーツでつながり広がる交流・連携の推進(つづき)	107	86	東京オリンピック聖火リレー事業	総合スポーツ公園	東京2020オリンピック聖火リレー及び、パラリンピック聖火展示を実施する。	東京2020オリンピック聖火リレー鳥取県実行委員会との共催により聖火リレーを実施した。パラリンピック聖火展示は新型コロナウイルスの影響により中止となった。 ・聖火リレーは令和3年5月21日に開催された。 ・コース:伯耆町役場～伯耆橋交差点(往復) ランナー:6名 事業完了		
							◎	新規事業目標達成90%以上

自己点検・評価に関する回答票

○報告書個別事業に対する有識者の意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、PTA会長、スポーツ推進審議会委員及び地域学校協働本部実行委員に送付し、無記名で意見書を返送いただいたものを掲載しています。

教育行政全般に関するご意見・ご感想	<p>学校教育に対し、多大な支援をいただいていることに感謝します。コロナの影響で実施できていない事業も多い中、工夫した取り組みが進められていると思います。コロナ収束後の取組について、特に社会教育をどのように回復させていくかが課題と思います。そのためにもwithコロナでできることを工夫してすすめていただきたいと思います。</p>
	<p>管政権の時、2030年までに温室効果ガス排出を半減させると目標を立てた。自治体による気候変動やSDGsに対する具体的な項目を挙げて取り組んでいく必要があるのではないのでしょうか。</p>
	<p>多岐にわたり事業が計画・実施され、評価もきめ細かくしてあり、改善につながっていくと思う。</p>
	<p>教育関係のアンケートの回答方式はこう評価が出るものが多く、問題点が発見しづらいと感じます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場の憂いはすべて地教委に集まるわけで、コロナ対応へのご尽力に感謝します。 ・こと学校教育においては、地教委がどこに重点をおいて、どの方向に向かっておられるのかがいまひとつ見えないうところがあります。高揚感をともなう施策・取組を共に考えたいものです。
	<p>教委委員会が事務局を務める団体が多いように感じます。組織の見直しや統合を進めてみてはどうか？</p>
	<p>教育というものは、すぐに結果が表れるものではないので、地道に続けていくことが大切なのかなと思います。事業を単年度ごとに点検することは必要ですが、これだけ多くの事業が上がっていると、実施することが目的になってしまうか心配します。事業の目的と効果を検証して、職員・教員の負担の軽減も考慮されたいと思います。また、それぞれの事業について課題や、改善方針を記述されておられるので、次年度にそれらについて、どのように対応し改善したのか取組が分かるシートの様式にしていれば点検。評価もやり易いと思います。</p>
	<p>コロナで実施できていない事業が多いですが、事業存続が懸念される事業も出て来ていると思います。コロナ後の事業の再構築を今から検討しておく必要があると思います。</p>
<p>多くの事業に対して、それぞれの視点で評価を試みていることに賛意を表したい。コロナ禍で実施不能であった事業が今年度同様な事態であった場合どのような対処をするのか、事業を中止するのではなく、数次の小規模大会(事業)を重ねるなど、事前の工夫をしての代替措置を考えておくことが必要と思います。</p>	

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
1	学力向上推進計画策定と進捗管理	的確な指導体制が確立されている。
		コロナ禍で、仕方がないことではありますが、学校と家庭の情報交換ができる場がなく、中学生は家庭学習やテストまでの準備がスムーズにできているのか、保護者はどの様に見守ればいいのか、悩んでいる方は多いと思います。少しずつ情報共有できる場を増やすことも個々の学力向上の環境づくりには大切と考えます。
		学力向上計画の推進のため、個別の対応が必要になるので人的支援を今後も充実していく必要がある。
2	標準学力調査及び分析の実施	全体的な分析も必要だと思うが、本町の児童生徒が弱い単元等の推移に特化した分析も必要だと考えます。
		授業改善は当然だが、低位な児童・生徒への指導には担任だけでは不十分になる。放課後の学習支援に充実を図っていける体制づくりをする必要がある。
3	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・学力補充関係事業	伯耆未来塾の事業目標達成率が90%以上とあるが、具体的にどのような成果があったのか。何を達成指標にしているのか示してほしい。本当に効果的な事業なのか疑問に思う。来年度以降も事業を継続するのであれば、目標を明示すべき。小学生の英検受験は、一部の児童への投資だと思う。民間の英語塾に通える経済力のある家庭への補助でしかない。小学校の英語授業を受けただけでは英検の受験レベルには到底、到達しない。ねらいがちがう。公平性が保てないので補助事業として廃止すべき。
		学力補充教室の実施方法の検討。
		コロナ禍であっても学力補充は生徒・児童にとっては必要な事になるので、コロナ禍でも実施できる方法の工夫が必要。
4	体力向上計画策定と進捗管理	子ども達の成長段階での体力づくりは学習面に限らずとても大切な事と捉えております。 本町の教育指針に「保・小・中連携」とありますが、今一つ「体力」に於いての連携が上手く出来ていないように感じております。 小・中の連携については、十分に私自身理解はしてはおりませんが、保・小の連携につき感じる事を述べさせて戴きたいと思っております。 現在保育所に於いて、年少・年中・年長児の運動指導をしておりますが、ある日小学校一年生の「体育の授業」を参観をする機会がありましたが、私が年長児に指導を終えた内容が再度指導されている様子を見て残念に思いました。 運動の基本に「やってみたい」「出来た」「より上手にやってみたい」との段階指導が必要だと思っております。 保育所と小学校の体育主任との連携をある程度領域別に理解をする事により、一つの小学校体育の領域の中での技能・技術の発達も望め、子ども達もより一層の高い内容に挑戦をする姿が望めると思っております。(No.19, No.91にも関連した内容です。)
		学力同様に、本町の児童生徒が弱い種目に特化した取組と分析が必要だと考えます。
		対外的な大会が中止となる中、運動へのモチベーション、体力づくりの機会をどのようにするのか、具体的な対策が必要になる。
5	小学校外国語教育推進事業	外国語、外国語活動に外国語支援員を配置していただいて、子どもたちに有益な結果が出ている。事業の今後の継続をお願いしたい。
6	外国青年招致事業	コロナの関係で、しばらくイングリッシュスクールのALTが3名続いたが、いずれの者も熱心で優秀だったことを申し添えます。
8	伯耆町教育振興会事業 ・学校保健	朝食調べは良いのですが、調査結果を元に対策を立てて改善を実施しないのですか？

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
9	運動部活動推進事業	岸本八郷スポ少野球部に溝口小の六年生が2人います。溝口中に野球部がないため中学校で野球を続けることが出来ない状況です。外部指導者活用事業で溝口中でも野球を続ける環境を整えていただきたいです。
		国が公立中学校の部活動が地域のスポーツクラブに段階的に移行されるという話を出しているが、伯耆町として教育委員会がどのように考えているのかわかりにくい。スポ少で活動してきた種目も中学校で続けることが出来ない現実が伯耆町にはあり、早急に対応すべき課題と考える。
		本町のスポーツ少年団の学童は本当に良く頑張っていると感じております。ただ、スポーツ少年団で頑張り、中学生になり大きな変化である「部活動」に取り組むようになりますが、入学した中学校にスポーツ少年団で学んだスポーツ競技が無く、仕方なく未経験のスポーツの選択、若しくは文化系の部活動を選択をしている現状があります。
		中学校に於いて、校務分掌的に教員の人数制限があり顧問の配置が難しい状況にある事も理解はしておりますが、中体連に於いても「大会合同参加」の緩和された規則もあると思いますので、柔軟性をもって対応をして欲しいと思います。スポーツ少年団で学んだ子ども達が中学校に入学する際に「スポーツ少年団で頑張っても、どうせ中学校には部活がないから」と感じるようになることは避けたいと思います。
		保護者に於いてもそういった考えも聞きます。児童・生徒の数も減っていき、今後は部活動指導は地域・第三者機関に於いて指導がなされようとしていますが、いずれにしても子ども達のやる気が失われないように心掛けていきたいと思っております。
		休日の部活動の地域移行について、各中学校がどういった対応をするのか、検討が必要である。
10	特別非常勤講師配置事業	学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について、学校と地域が協働、融合した部活動の実現方策に取りかかること。
		部活動は教員の負担が重いので、今後も専門指導員の導入を進めて下さい。教員の善意に頼らず、労働環境の改善を図ってください。
10	特別非常勤講師配置事業	溝口小には配置されていない。溝口小では、有能な外部人材を活用していないのか？活用しているのであれば、謝金等の支出が必要になる。せつかくの県の人材活用事業なので積極的に活用すべき。
13	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・教委研修会	小中一貫カリキュラムが教職員に定着するような働きかけを町全体で確認し、推進する必要がある。
16	伯耆町教育振興会事業 ・生徒指導	中学入学にあたり生徒指導の文章を見たが、とてもレベルの低い文章の書き方で驚いた。「〇〇はいけません」ならともかく「〇〇はダメです」という記述はどうなのか。そういう時代なのか。生徒指導上おかしいと思う。
19	伯耆町教育振興会事業 ・保小中一貫教育	共通実践科目や、目指す人間像の確認は、どの機会で行われているのか？
20	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・小中一貫関係事業	カリキュラムに基づいた授業づくりのスキルを高めたといえる取組だったでしょうか？大いに疑問です。
		コロナ禍で顔を合わす機会が減り、小中一貫の意識が薄れてきているのを感じる。
21	スクラム教育事業 (保・小・中の児童・生徒交流活動)	まとめ冊子を教員が活かして学力向上、不登校防止に取り組んでほしい。
22	中学校教員の小学校への乗入授業	学校課題に応じた配置、計画が望ましい。
		良い事と感じております。小中一貫の学校ではありませんが、入学先の中学校の先生を知る事、とても良い事と思っております。
		情報・外国語教師の小学校への受け入れ授業の推進をはかること。
23	就学支援検討会	せつかく保小中が連携して支援を行っているのだから、もっと子供の(本児の)先を見据え将来社会に出て困らない支援をして欲しい。目先のこと、大人の都合で支援を行うのではなく、常日頃から本児の姿を見ている保育士の意見に耳を傾ける必要がある。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
26	少人数学級実施事業	<p>鳥取県の公立小学校の編制基準は、順次30人学級になり、令和7年度には全学年が30人学級となる。本町ではさらに先行し、中3までの全学年について、既に30人学級編制としており、県へ協力金を支出することで教員を確保している。このことには、2つの問題点がある。</p> <p>1つ目は、多額の協力金を支払っても、配置されるのは主に講師で、教諭が増員されたことはほぼないこと。また、この配置があることで、他の加配が減っているのではないかと不信に思う。</p> <p>2つ目は、この協力金の恩恵を受けるのは、町内では中学校のみで、小学校では、複式学級解消はあっても少人数学級協力金が支出されたことは未だかつてないことである。</p> <p>町内の小学校では、児童数に大きな差があり、平均的な1学級の児童数は、学校により大きく異なる。少なくとも、多くても課題はある。現在、1～6年生まで一律に30人学級としているが、低学年では基準を少なくしたり、教員の複数配置を考えるなど、現状にあう手立てを検討する時期にあると思う。</p> <p>また、学校の設置自体を再度考える時期が近づいていると思われる。</p> <p>特別支援・不登校対応にはなくてはならない施策だったと実感しています。</p> <p>複式学級を指導できる教員はほとんどいなくなった。今後も複式解消の教員配置が必要。</p> <p>少人数にしても複式学級になるような場合は統合も検討してはどうでしょうか</p>
27	スクールソーシャルワーカー活用事業	SSW, SSWSともによく学校に出向いてもらっていると思います。
28	スクールカウンセラーとの連携	SCには、生徒指導面で大いに役割を果たしていただきました。
29	特別支援教育支援員配置事業 ・早期支援コーディネーター	早期支援コーディネーターの配置により、就学支援にとっても効果を感じる。
30	特別支援教育支援員配置事業 ・学習支援員等	<p>学習支援員には、特別支援の観点で大いに役割を果たしていただきました。</p> <p>通常学級へ支援の必要な児童は増加している。学習支援員の確保は今後重要になる。支援員確保のため、他町より労働条件の向上が必要になる。</p>
31	学校図書整備及び図書館司書配置	<p>各学校に配置された学校司書の資質向上のための手立て、方策は工夫されているか。司書の有資格者の登用はなかなか難しいと思われる。学校図書館は1人職場であり、スキル向上のためには、本人の努力に負うところが大きく、かなりの努力が必要だが、研修の機会は、そう多くはない。町立図書館と学校図書館との配置換え、人事交流なども視野に入れることで、町内図書館の連携が進み、一人一人の司書のスキル向上にもつながると思われる。</p> <p>図書館司書が配置されていることにより、図書館の環境が向上していると思います。</p>
32	校務支援システムの活用	<p>今やなくてはならないツールとなっています。</p> <p>教職員の労働環境改善のため、今後もシステム化が必要。</p>
33	教育支援センター運営事業	えがおとの情報交換により、生徒支援に大いに資するところがありました。
36	学校施設整備事業	<p>老朽化による事故等も想定されるので、早めの対応をお願いします。</p> <p>※No.37.38にも内容がかぶります。</p>
38	中学校施設修繕事業	溝口中学校の校庭、テニスコートの管理が非常に悪いと思います。先日、東京に住んでいる卒業生が見てびっくりしていました。子供が学んでいる校庭とは思えないと。
39	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	現在、各学校の消耗品費は、基本額に児童生徒数に応じた額を加えて予算化されている。現場の必要性を考慮すると、児童生徒数だけでなく、教室数、特に学級数に対応した額として算定してはどうかと思う。消耗品の増額が望ましいが、現予算の再配分も検討してはどうか。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
41	バス事業担当課との連携	スクールバスの利用は長い子は12年。その間様々なドライバーさんに温かい言葉がけを頂いて成長しています。スムーズな運行はもちろんですが、日々の心づかいにもきちんと感謝できる子として利用マナーを身に着けていけるように、保護者も協力できると思います。
42	ICT環境の整備	教員支援による、各教員のICT教育スキルアップが必要。
		ICT支援員の配置により、環境を活かすきっかけとなっていると感じます。
		ICT支援員の配置はとても効果がある。
43	防災教育・避難訓練・防災関係計画の充実	現在、一部の小学校、保育所では合同の避難訓練が実施されている。災害は同地域に同時にやってくるので、保・小・中の合同引き渡し訓練、さらには、地域の避難所開設訓練など、行政も一緒になった訓練を数年に一度ペースで実施することも大切だと思う。
44	学校給食施設管理運営事業	アレルギー対応委員会にて、小中学校給食センターと保育所給食で、危機管理に差があるのでは…という意見がありました。その点の連携はとれるようになったのでしょうか。
46	食材供給連絡協議会との連携	有意義な取組なので生産者の拡大を図って下さい。
47	伯耆町教育振興会事業・学校事務	共同学校事務室が開設されて2年目となるが、開設の打合せ段階では、小中学校費の中から、共同事務室で支出したほうがよい予算については、共同学校事務費として、新たに費目をつくるよう話し合われていたと思う。その後の経過はどうなのか。評価が〇の根拠は何か？
48	青雲寮管理運営事業	どの程度利用があるのですか？
49	家庭教育支援事業	ハンドブックの活用、実践が必要。
		「家庭教育条例」を旧統一教会が日本全国制定を図っているという内容のテレビを見ました。名前のよく似ている事業なので気になりました。
		読み聞かせは大変有意義ですので、積極的に推進してください。
50	家庭教育ハンドブック配布及び活用事業	家庭教育ハンドブックの教員への周知度は、いかほどか？年度始めの校長会等で伝えて終わっていないか？せっかくよいものができているので、きちんと周知すべきで、その内容を共通実施させる必要があると思う。町教振研究大会等の機会をとらえて、指導主事が全教員に直接説明するべきだ。学校運営協議会で話題に取り上げたとあるが、その後のフォローはできているのか？評価が〇の根拠が見えない。
51	PTA協議会補助金	講師謝金の発生するものでも、有効なものであれば可能な範囲で実施されてもいいのではないのでしょうか。
		コロナによってPTA活動の必要性、重要性が保護者の中で薄れてきている。何のためのPTA活動か本来の目的を確認する必要がある。
52	学校運営協議会運営事業	学校運営協議会では、会の中で学校の取り組んでいることを聞き、それぞれの委員が意見を出し合い、学校運営に少しは役立っているのではないかと考えています。また、最近では町内お宝マップ等を作成して保護者に配布しています。
		組織的な取り組みで、成果が向上してきていると思う。
		地域の方として参加していただく方の年齢層を検討してほしい。偏りを感じます。
		学校運営協議会で学校運営に係る特別予算を組むことで、より委員が学校運営に参画できるのではないかと。
53	地域学校協働本部事業	コロナ禍で工夫しながら取り組んでいる。
54	伯耆町教育ネットワーク会議事業	児童・生徒の取組は良いが、コロナ禍で地域住民への広がりはやや難しくなっている。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
56	放課後子供教室	指導する人材の確保・充実が課題。
		様々な体験活動が難しい中で、工夫をされているのは素晴らしいです。今後は指導者の人材確保も考えていかなければと思います。
		現在火曜日に溝口小学校、木曜日に岸本小学校に出掛けておりますが、支援の先生方の協力も得てここ数年間、大きな事故・怪我もなく指導が出来ていると感じております。 指導者としては、年に数回は保護者に参観をして戴いても構いません。子ども達が「どんな感じの先生と、どんな事しているか」を知ってもらう事も大切だと思います。
58	青少年育成伯耆町民会議 運営支援	図書館で出会った子どもたちに「こんにちは」と挨拶をすると、必ず「こんにちは」と返ってきて、気持ちがいいです。この調子で保育園から挨拶運動が続いてくれたらと思います。
		「家庭の日の標語」「人権標語」と2つの標語がならぶことの検討をお願いします。
59	高校生サークル((旧)高校生ユースセミナー)	▲評価なので今後の展開がさらに具体的だと安心します。
		内容は理解しておりませんが、高校生と特に中学生との意見交流会及び高校生の体験発表会は良い事と思います。 高校への進学に色々な情報・経験を中学生に伝える事は良いと思います。
		活動が停止してから何年目になるか、中学生の頃から新しく高校生の町内サークルを作るとして登録するとか工夫を図ってはどうか。
61	成人式	県内居住者を対象に実施されたが、主催者としてはとりあえず実施し、評価は○なのだろうか？対象者にとってはどうだろうか。主役は成人者。主催の方法についてはかなり悩まれたと思う。安全策をとった結果とはあるが、参加できない対象者がかなりあったと思う。評価の観点はずれている。
		成人式はやはり対面で行ってほしいですね。来年はぜひ期待しています。
		他町の開催状況を参加者は見ている。「伯耆町は若者を本当に大事にしていると感じなかった」という該当者の声が多くあった。
		18才からの成人式の検討。 (高校生年代の受験シーズンの実施時期) これまでの年代と新時代の年齢者との対応。
63	読谷村教育交流	実際の交流が出来なかったが、オンラインの交流が出来とてもよかったと思います。お互いの文化を学び合える機会を続けてほしいです。
67	社会教育委員	町内で社会教育委員の存在を知っている人はどれくらいなのだろう。広報や活躍の場を工夫してはどうか。
68	生涯学習まちづくり推進事業	CATVをどんどん活用し、発信して行って欲しい。
69	社会教育主事等の育成	今後、社会教育士の育成を教育委員会だけで考えず、関連するかと連携して人材育成していき、町の行政全体で計画的に育成してはどうか。
71	図書館管理事業	図書館会議では、各年齢層向けの本の選別、学校図書館との連携等様々な事業を行っております。また高齢者向けの音読教室、出前図書館棟も開催していますが、特に男の音読教室は参加人数が少ないので、これから周知する必要があります。
		今後も継続して図書館活用を推進して下さい。
72	図書館振興事業	音読教室に参加していますが、皆さんとてもイキイキと声を出しだんだん上手になっておられます。コロナ禍で中止されることがありましたが今後はぜひ続けてできることを願ってます。
75	人権教育・啓発推進協議会運営事業	「人権啓発標語」「家庭の日の標語」と2つの標語がならぶことの検討をお願いします。
76	文化センター管理運営事業	文化センター100円ランチは最近持ち帰りいただいておりますが、早く皆で一緒に食べられるようになってほしいです。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
86	地域文化活動の支援	伯耆町民音楽祭、早くお客さんを入れて開催してほしいです。
		文化部活動の地域移行について、検討する組織が必要だと考えます。
90	写真芸術・文化振興事業	フォトスクールは生徒にとって非常に有効な機会だと感じます。
91	こども体力・運動能力等向上事業	スマイリースポーツクラブによる専門的な指導は有効であるか考える。
92	伯耆町体育団体等補助事業 ・ジュニアクラブ活動支援	伯耆町内でジュニアクラブの今以上の支援をして欲しい。例えば送迎などバス移動があると助かるし、もっとスポーツやクラブに参加できる機会が増えると思う。
93	スポーツクラブとの連携による健康づくり	毎月開催ですが、毎回参加させて頂いています。とても楽しみにしています。
		クラブに於いては、町より受託事業のスポーツ大会はコロナ禍のためにここ数年間は開催するには至っておりません。 昨年度も、クラブ主催で幾つかの事業を実施致しましたので報告をさせて戴きます。5月～3月毎月一回の小学生対象の運動教室「キッズ・アスレ」の開催、5月町民対象の「ウォーキング」、10月は米子市福生風の会に指導戴き「親子凧づくり教室」を開催し、スポーツ公園多目的グラウンドで作成した凧を親子で上げました。 同じく10月町内保育所年中・年長児対象で、スポーツ公園ちびっこ広場で「クロスカントリー競走大会」を。そして10月には、大山赤松の池で「親子カヌー教室」日野町カヌーの里に於いて「親子ラフティング教室」を実施。また、12月・2月・3月に「親子体操教室」。 大人対象の前期3ヶ月、後期3ヶ月で毎週一回の「スマイル・フィットネス教室」を開催しました。 また、年間を通して、毎週火曜日に町民対象に「いきいきクラブ」として、バウンドテニス・バウンスポールなど好みのスポーツを体験して戴いております。 今年度も7月～3月「キッズ・アスレ」、「ウォーキング」前期の「スマイル・フィットネス」8月にプールが開催され8月「保育所園児・小学生短期水泳教室」、大人対象の「アクア・フィットネス」を実施しました。9月より後期の「スマイル・フィットネス教室」を。10月に「親子カヌー教室」「親子ラフティング教室」9月・10月・11月に「親子体操教室」、11月「ウォーキング」を開催実施する予定です。
94	スポーツ推進審議会事業	運動部活動の地域移行については、本腰を入れて検討すべき時期だと感じます。
		・中学校部活問題(教員の部活指導etc.)解決のための方策を早急に検討する。(地域スポーツクラブに移行させる等) ・指導者登録と育成。
95	スポーツ推進委員事業	米子市等に於いては、公民館事業の中でスポーツ活動的なことにスポーツ推進委員の活動がみられます。 本町も今一つ計画の中での活動を望みます。 また、町民の皆さんが「スポーツ推進委員」の方々をご存じない状況も聞いております。
96	スマイリースポーツクラブ支援 (スマイリー独自活動支援関係)	伯耆町独自の支援策を継続し、行政とクラブが連携し、町民のスポーツ活動の振興に努力してほしい。
		地域住民を広く、小・中学年代まで広げ、中学校の部活指導できる人材を要請し、派遣できるように充実させること。
97	町内体育施設管理運営事業	昨年11月、スポーツ公園野球場でスポ少で試合のアップ中に他チームの選手がスズメバチに刺され病院で手当てを受けた。予算の都合で直ぐに蜂の巣を除去出来ないとのことで、このくらいの特別予算は出していただけないものかと思います。(翌週も試合でしたがそのままの状態でした。)
99	伯耆町体育団体等支援事業 ・一般スポーツ団体等支援	地道な活動の継続と新たな活動を展開するためのクラブ員のモチベーションの向上が必要と思う。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
102	地区運動会・その他イベント開催事業	地区運動会は、普段顔を合わせない外に出た人たちと地元の人たちが年一回会える日です。楽しみにしています。
		地区運動会が本当に必要なのか、抜本的な検討を行うべきだと感じます。
		コロナ感染症拡大防止は大切だが、地域のつながりが弱くなってきていないか。今までと同じではなく新しいつながりが作れるイベントの工夫がいるのでは。
		小規模大会を複数回の開催とし、日常的な活動を評価する。(トータル参加者数・トータル開催) 小規模大会の開催(年齢制限・地域別) ・参加することに意義がある ※No.103にも内容がかぶります。
		運動会は地区役員の負担が大きく、見直してほしいという意見が多い。
103	生涯スポーツ振興事業	集落の体育委員を3年に1度位させてもらっていて今年もそうだが活動がない。あらためて役目があってこそ選手にはならなくとも大会ごとに練習し体を動かしていた。PTAの球技大会でも子供のためとはいえ、体を動かしていた。町から随分と体を動かせてもらっていたなあと思う。
		今後もコロナ感染は続きそうであり、スポーツ振興には厳しい状況である。感染対策を取り、人数制限を加えるなど工夫し少しずつ実施していくことにより、継続していくことが大切である。
104	生涯スポーツ振興事業 (ジュニアスポーツ大会関係)	現状は厳しいが、子どもたちは開催を楽しみにしている子もいるので何とか対策を講じてスナッグゴルフ大会を計画していただけると喜びます。
105	オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆補助事業	開催には携わって参りましたが、ここ数年「コロナ」の関係もありますが、例年の猛暑を考えた際、夏場の開催は難しいと感じております。また、ボランティアの動員に苦慮されている状況もみられます。本町開催ではありますが、例年運営スタッフの方々には偏りがあるようにも感じております。
		ジュニアトライアスロンが本当に必要なのか、抜本的な検討を行うべきだと感じます。
		感染対策が大きな課題となるが、開催できるように計画をたててやっていただけるとよろこびます。
		この大会を経験した選手が、高校、大学と活躍している現状を見ると、この大会の価値は大きいと思う。
106	スポーツ優秀選手支援事業	県指定選手等を支援する事は良いと思いますが、今一つ町民の皆様が良く理解が出来ておらず、申請漏れもあるように思います。また、町民にも優秀選手等の活躍、指定状況は周知された方が良いのかと思います。それを目標にスポーツに努力する子ども達が増える事も望みます。
107	東京オリンピック聖火リレー事業	聖火リレーは距離は短かったですが、やってよかったと思います。

●教育委員会の活動(点検及び自己評価)

施策	番号	項目	概要	主な成果等		評価	
				意見・感想、主な課題・改善方針等		評価	評価選択肢
教育委員会の活動	1	教育委員会会議の運営	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月1回開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則等に基づき、定例会12回、臨時会1回を開催し、案件数130件(報告43件、議事16件、協議20件、その他51件)を審議した。 ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		教育委員会会議の運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・慎重な審議と会議の効率化を図る。(定例会の議案または資料を事前に配布する) 	<ul style="list-style-type: none"> ・議案等資料を概ね1週間前に送付することで、事前に案件の内容把握を行うことで会議の効率化に努めた。また、平成28年から始めた委員協議についても継続し、最新の教育事情等について意見交換を行い、見識及び共通理解を図った。 ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		広報活動の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の自己点検と評価等をホームページ等で掲載し、住民への情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議開催について、防災行政無線で周知した。また、教育委員会の自己点検及び評価等を、毎年9月議会にて報告するとともに、町ホームページに掲載し、情報提供を行った。 ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
(3)事務局の管理運営	2	議事録の公開状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開示請求があれば、議事録の開示を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録の概要を町ホームページで公開しているが、開示等請求があれば開示を行う。令和3年度は請求無し。 ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	
		教育委員会事務局管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局の事業実施状況を把握し、助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施状況で、必要なものは、その都度教育委員会に報告し、助言等をいただいた。(議会提出案件、標準学力調査結果など) ・今後も継続実施 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	

施策	番号	項目	概要	主な成果等 意見・感想、主な課題・改善方針等		評価	
				評価	評価選択肢		
(4)町長部局との連携 (5)教育委員の自己研鑽	4	教育委員会と町長部局との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・町長との懇談会を実施する。 ・総合教育会議を開催し、町長部局との連携等、協議・検討する。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	5	学校訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。学校運営の取組を聴取する。また学校行事等へ参加する。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	6	所管施設の訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設・社会教育施設等を訪問し、要望等現場の声を聞く。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	7	研修会等参加	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員を対象として各種研修会等に参加し、教育委員としての知見を広める。 	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上